

2022年度中間決算 会社説明会

2022年11月28日

この世界で。この街で。このじぶん。

YMfg

株式会社山口フィナンシャルグループ
(東証プライム市場：8418)

TOP MESSAGE

3

- 企業価値向上 4
- 株価推移 5-6
- 経営の方向性 3つのポイント 7
 - ①戦略的資本活用 8-11
 - ②政策投資株式の縮減 12
 - ③人財活躍推進 13-15
- パーパス浸透 16
 - 背景 16
 - ブランドスローガン 17
 - コミュニケーション 18-19

I. 2022年度中間決算概要

20

- 2022年度中間決算概要（FG連結） 21
- 経常利益増減要因（FG連結） 22
- 2022年度中間決算概要（銀行単体） 23
- 貸出金平残 24
- 貸出金利回り 25
- 貸出金利息 26
- 役務取引等利益 27
- 有価証券 28
- 経費/OHR 29
- 与信費用/貸倒引当金 30
- 自己資本比率（FG連結・銀行単体） 31
- 2022年度通期業績予想（FG連結・銀行単体） 32
- 2022年度通期業績予想 経常利益増減要因（FG連結） 33

II. 中期経営計画2022事業別収益状況

34

- 中期経営計画2022目標経営指標 35
- コア事業領域
 - 法人事業 36-40
 - リテール事業 41-42
 - 有価証券運用事業（純投資） 43-45
- 新事業領域 46
- 中期経営計画初年度進捗・通期見通し-事業別 47

III. 中期経営計画2022

5つの重点項目に基づく主な取り組み

48

- 中期経営計画2022 5つの重点項目 49
 - ①地域共創サステナビリティ経営の推進 50-52
 - ②グループ人財の活躍推進 53
 - ③「地域・お客さまへの提供価値最大化」に向けた探求 54
 - ④「事業領域拡大・収益力強化」に向けた挑戦 55
 - ⑤ガバナンス・内部統制強化 56
- 参考資料 57-73

山口フィナンシャルグループ

代表取締役社長CEO

棕梨 敬介

**成長する地域金融グループを志向し、
企業価値向上に注力する**

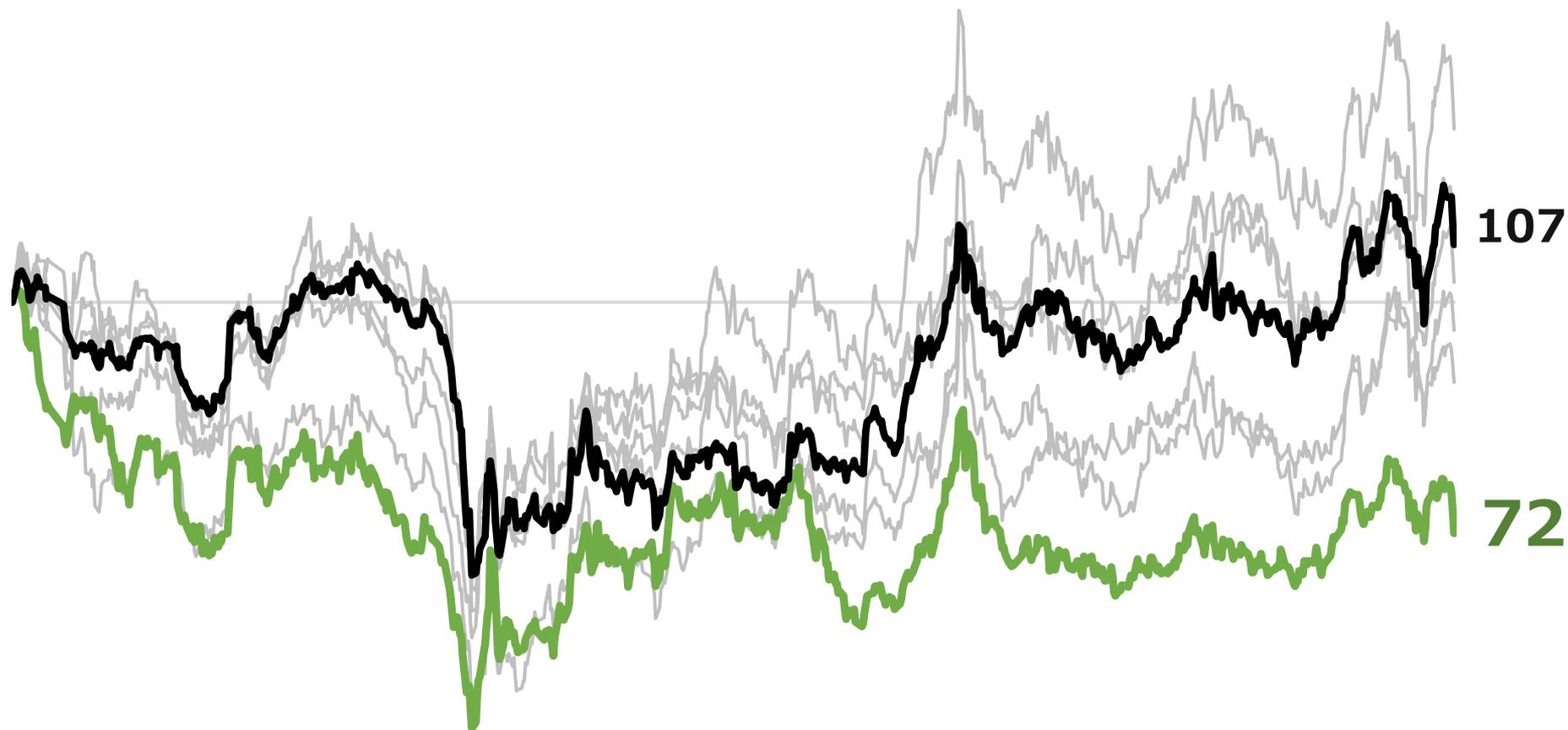
株価推移（前中期経営計画期間）

地銀上位行および銀行株価指数との比較

— 地銀上位行

— YMFG

— 銀行株価指数



※2019年3月末の終値を100として計算

2019/3 2019/7 2019/11 2020/3 2020/7 2020/11 2021/3 2021/7 2021/11 2022/3

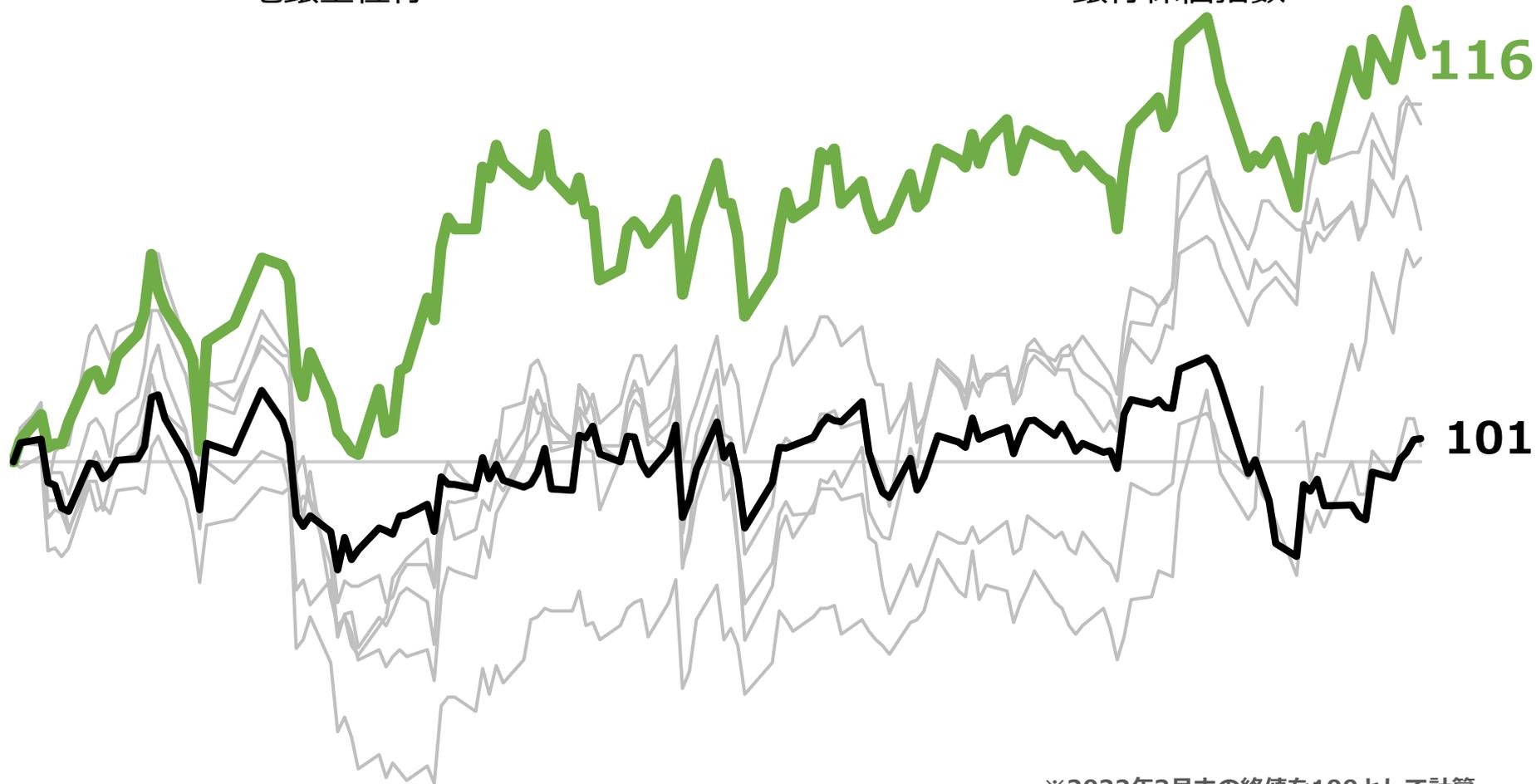
株価推移（中期経営計画2022開始以降）

地銀上位行および銀行株価指数との比較

— 地銀上位行

— YMFG

— 銀行株価指数



- ① 戦略的資本活用
- ② 政策投資株式の縮減
- ③ 人財活躍推進

① 戦略的資本活用 -資本調達-

◆ バーゼルⅢ準拠Tier2劣後債発行 総額224億円

- ✓ 地方銀行初となる個人向けグリーンボンド発行（200億円）



■ 自己資本充実

- ✓ 貸出金、有価証券等へのリスクテイクおよび戦略的投資等に資本をアロケーションしていくうえで必要な自己資本充実に寄与

■ 資本効率向上

- ✓ 資本コストの観点から、総自己資本比率に占めるTier2資本の割合を増やし、Tier1資本は配当、自己株式取得等にアロケーションしていくことで、資本効率改善を図っていく

■ 持続可能な社会の実現に環境面から貢献

- ✓ グリーンボンドとして発行
- ✓ 本社債で調達した資金を適格クライテリアを満たす融資に充当

① 戦略的資本活用 - 資本投資 -

◆ グループシナジーの最大限発揮に向けた体制構築

- ✓ 山口キャピタル※100%子会社化（2022年8月）
- ✓ リース、カード事業のグループ集約に向けた取り組み加速



■ グループ投資ビジネス機能強化

- ✓ 投資に係る意思決定のスピードアップ
- ✓ ベンチャーや中小企業支援、再生事業分野において、より付加価値の高い金融サービスを提供

※山口キャピタル株式会社
1996年4月設立の投資専門会社
<2022年9月末実績>
ファンド運営実績累計 : 16ファンド
出資約束総額累計 : 264億円
運営ファンドを活用した
累計投資実績 : 158社

■ グループ連結収益力強化

- ✓ グループ外株主への流出利益の集約
- ✓ 業務集約による経費削減効果

① 戦略的資本活用 -株主還元強化-

【株主還元方針】

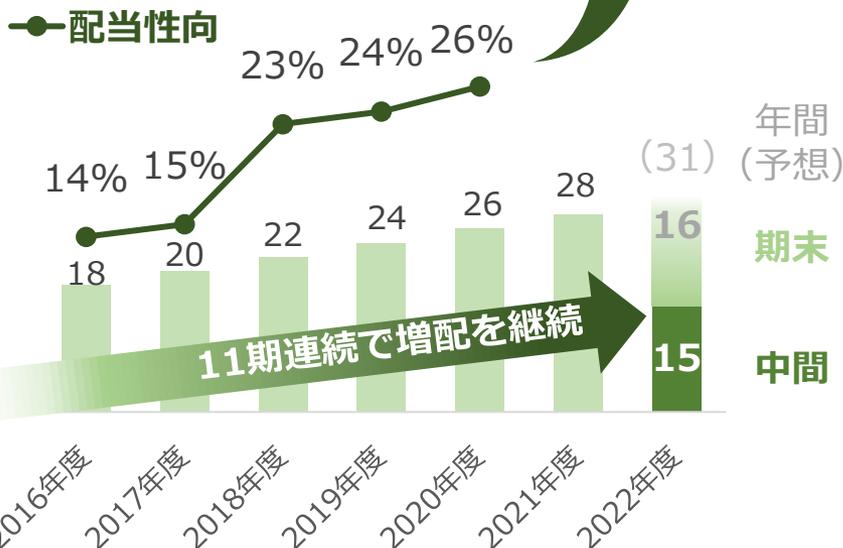
- 配当性向40%程度を目標設定
 - 市場動向・業績見通し等を勘案した自己株式取得を検討
- ➔2022年度は自己株式100億円取得公表（10月末までの取得総額は54億円）

年間配当／株・配当性向の推移

中間配当は当初予定どおり、
前年度中間配当から
1円増配し15円

(単位：円)

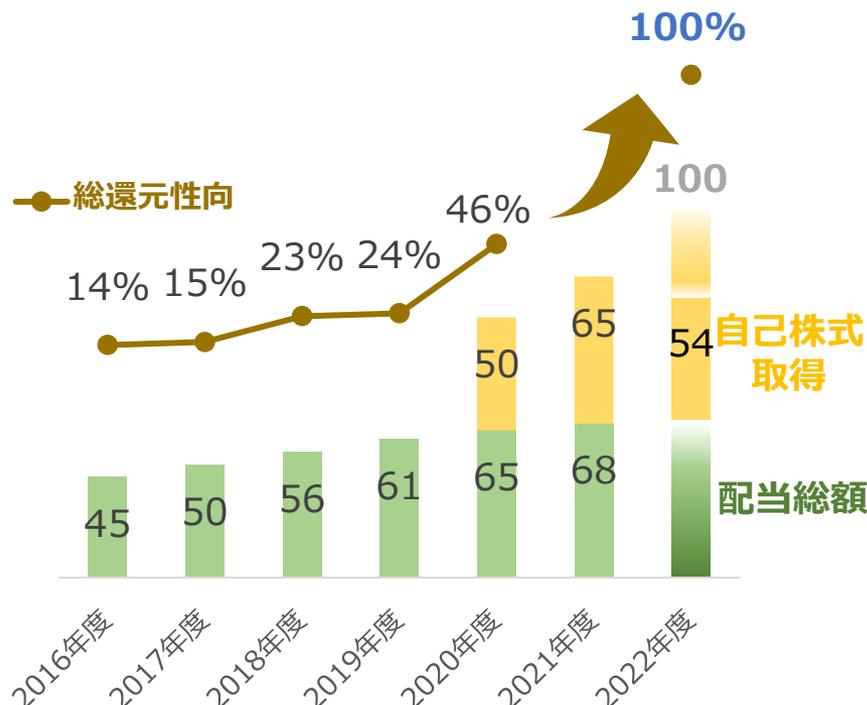
期末配当金は16円を予定



配当総額・自己株式取得額※・総還元性向※の推移

※CB発行・償還にかかる自己株式取得を除く

(単位：億円)

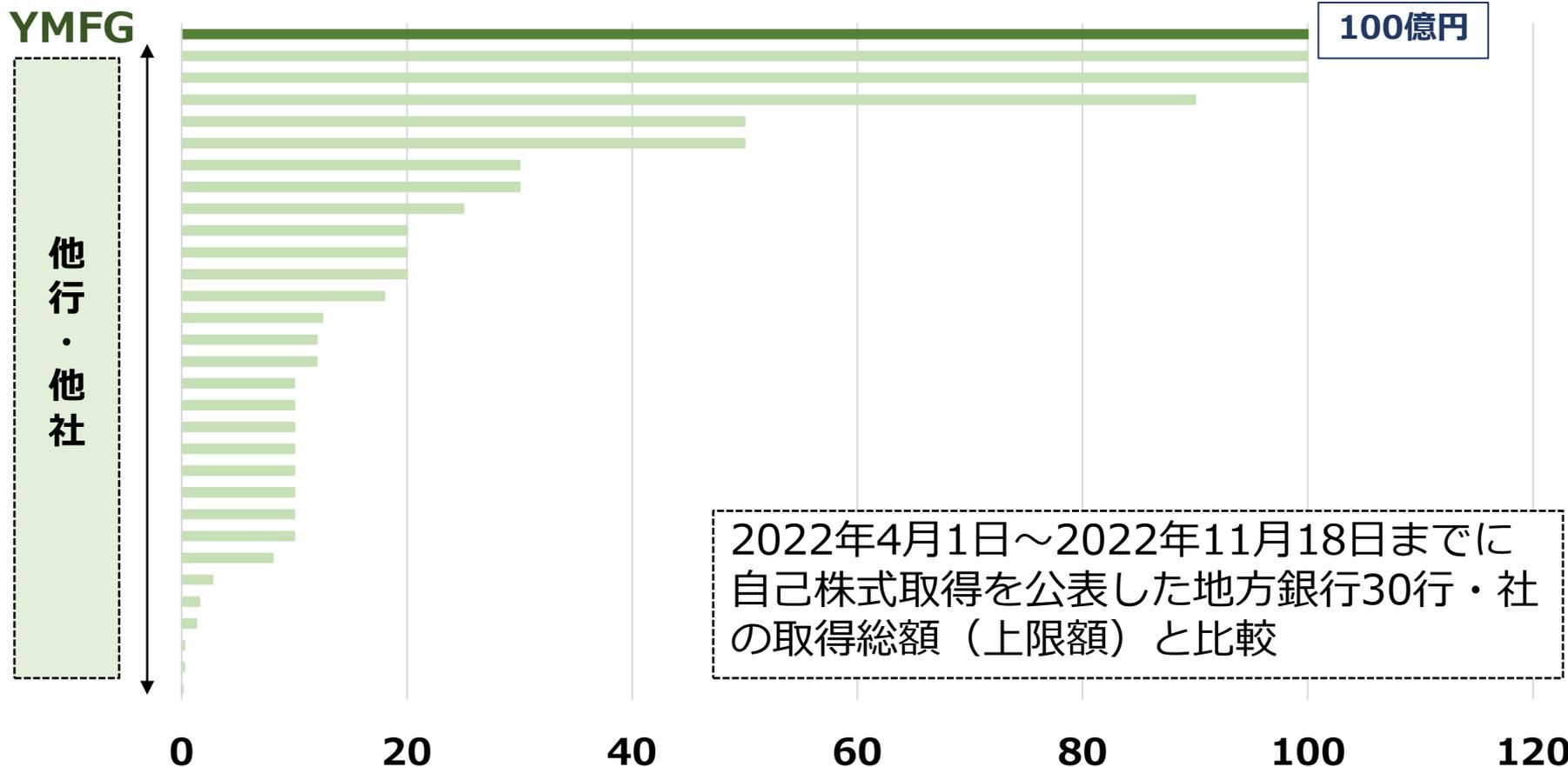


① 戦略的資本活用 -株主還元強化-

■ 5月公表の自己株式取得100億円は今年度地方銀行最大規模

2022年度 自己株式取得動向

(単位：億円)

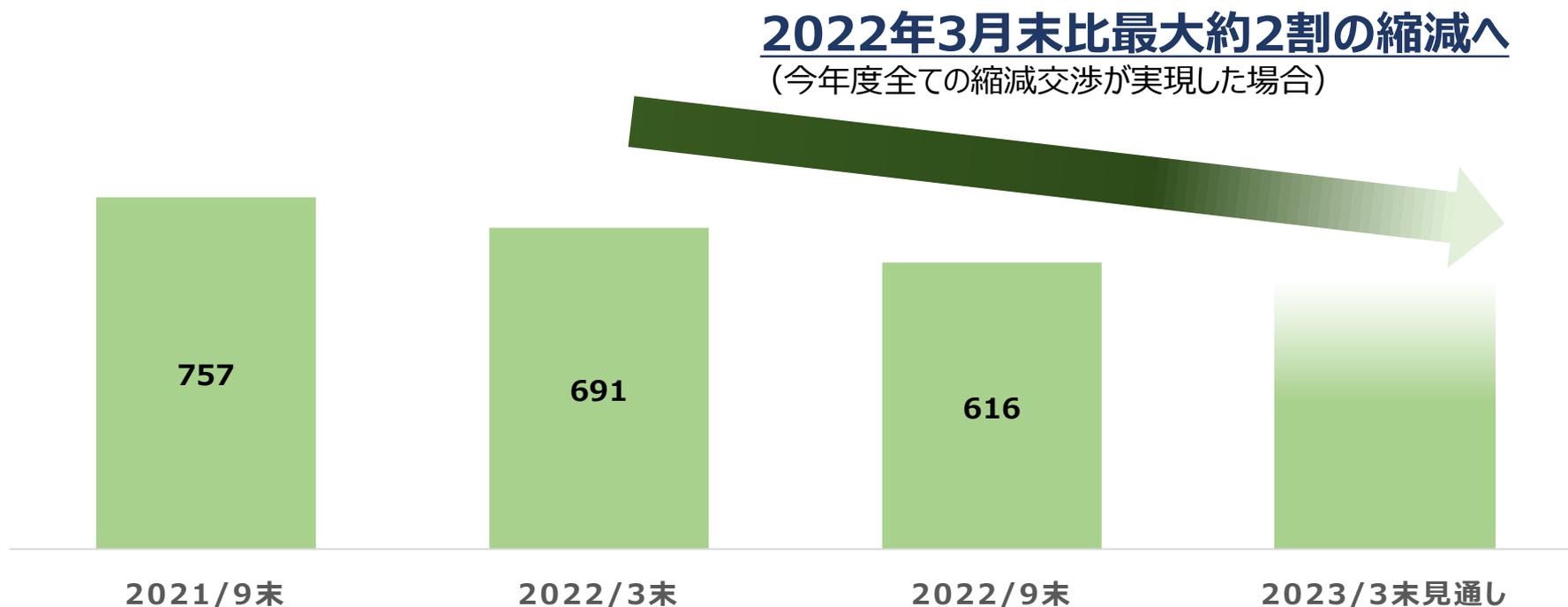


②政策投資株式の縮減

- 政策投資株式の縮減加速に向けて、縮減対応協議会※で対応方針を協議
- 今年度は2022年3月末残高の約2割の縮減に向け交渉を行う

政策投資株式取得原価推移（3行合算ベース）

（単位：億円）



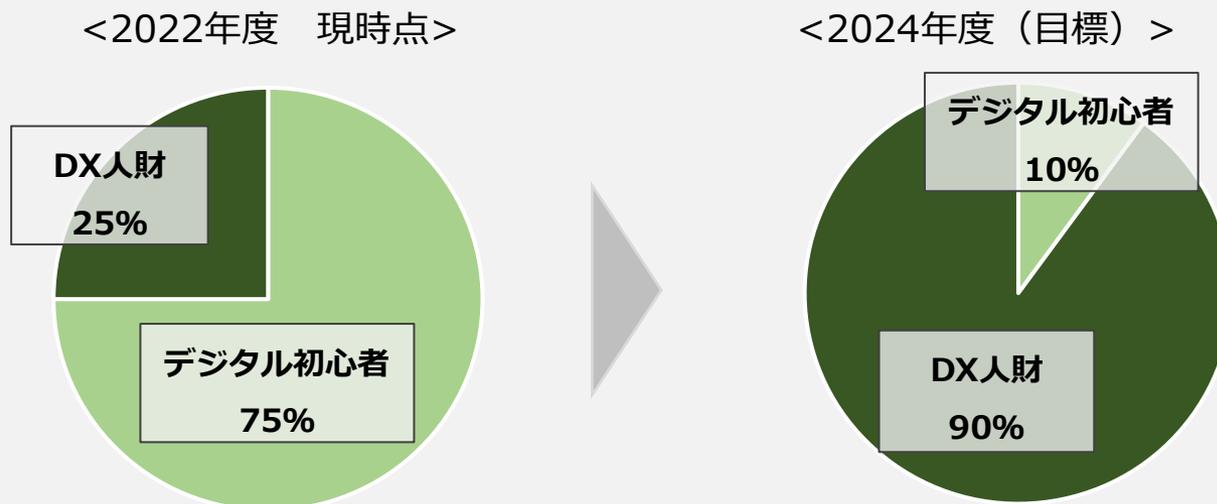
※ FG社長や各行頭取等のメンバーで構成された、政策投資株式の対応方針を協議する会議体

③ 人財活躍推進 -人財育成投資強化-

◆ DXリテラシー向上のための人財投資を強化

■ グループ成長の基盤となるDX人財育成

- ✓ 社員のDXリテラシー可視化のため「DXスキルアセスメント」を上期実施
- ✓ アセスメント結果・課題を踏まえたDXリテラシー向上施策に投資へ



※DXに関するスキルをLV0～LV4に区分 LV0 →デジタル初心者 LV1～4→ DX人財

③ 人財活躍推進 - 女性活躍推進 -

◆ 多様で複雑化する社会において柔軟に対応できる組織へ

■ 先進的事例の共有（コンソーシアム等への参加・加盟）

人的資本経営コンソーシアム



■ 女性管理職・リーダー層への積極登用

- ✓ 積極的なリーダー層への登用を行うことで、女性管理職候補のプールを増やし、長期継続的に女性管理職比率を向上させていく
- ✓ 全所属長を対象とした、アンコンシャスバイアス研修の実施

<女性管理職比率>

2020年度	2021年度	2022年度上期
1.2%	1.3%	3.0%

<リーダー層への女性登用率※>

2020年度	2021年度	2022年度上期
11.3%	16.7%	44.4%

※ リーダー層への女性登用率 = 女性登用者（係長以上） / 登用者数（係長以上）

③ 人財活躍推進 - 従業員向け株式関連報酬 -

◆ 従業員向け株式関連報酬の導入

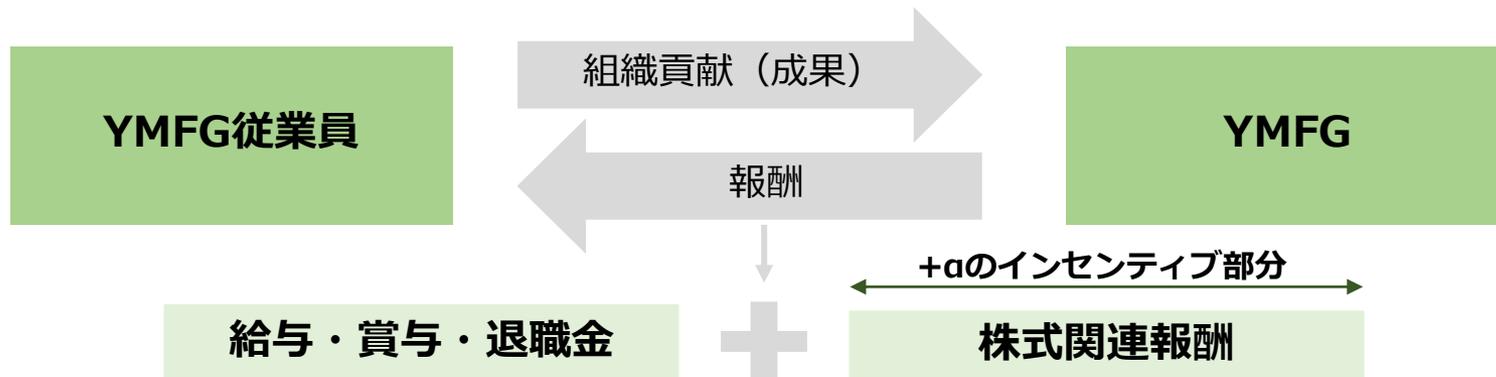
✓ 2022年度中に制度設計、2023年度より導入予定



■ 企業価値向上に対する社員モチベーション向上

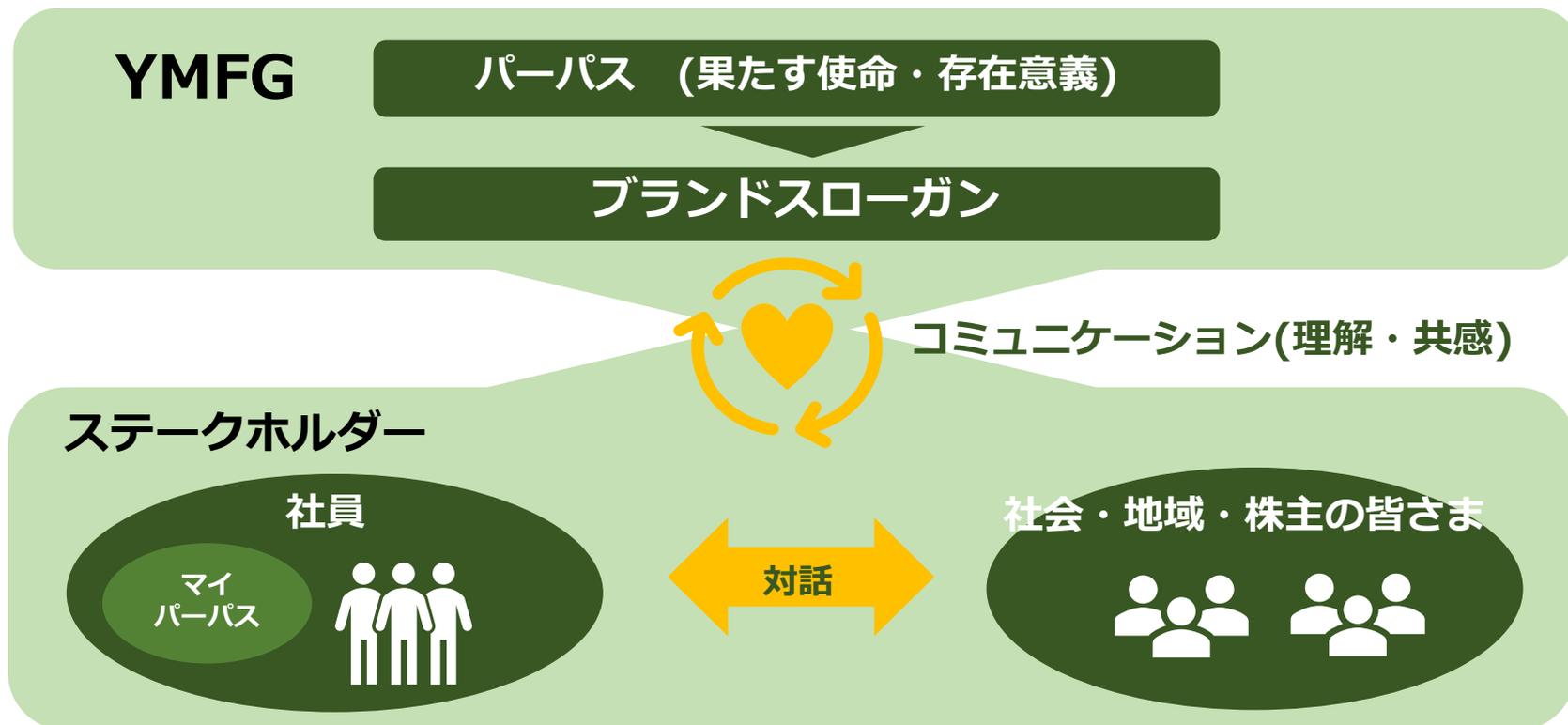
■ 株主目線での業務運営促進

- ✓ 従業員の意欲向上と投資家の利益を連動
- ✓ 原則全従業員を対象に導入予定
- ✓ 成果に比例したインセンティブとなる仕組みを検討中



パーパス浸透 -背景-

- ◆ パーパスの理念を広くご理解・共感いただくための旗印として、ブランドスローガンを策定
- ◆ ブランドスローガンを中核に事業活動の原動力として、新たなコミュニケーションを展開



パーパス浸透 -ブランドスローガン-

〈ブランドスローガン〉

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

込められた思い

「地域の可能性」

「じぶんを考える」

パーパス浸透 - コミュニケーション -

◆ブランドスローガンに込められた想いを「YMFGらしさ」として表現し、コミュニケーションを展開

テーマ

「わたしにはわたしの陽のあたる場所。」

「じぶんの物語をつまらなく感じたとき。」

テレビ
CM



禱 キララ



わたしにはわたしの
陽のあたる場所。

あなたのその場所、いい場所ですね。
わたしも 賢くなって もらえませんか？
そんなわけには いかないですね。

陽のあたる人生を 歩きたいと思うけど、
じぶんが 何者かまとも
まだ わからなくて、
お目覚めて
陽のあてようが ないでしょうか。

けども じぶんが 何者かなくて、
最後まで わからない気がする。
ただがんばり続けることを、
がんばれる場所が
がんばりたい。

それほどこか？ どこでしょう。
それも探すのが、
ここしばらくの わたしの仕事。

この世界で、
この地で、
このじぶん。

山口銀行 もみじ銀行 北九州銀行 **YMfg**



青木 柚



じぶんの物語を
つまらなく感じたとき。

地方都市に生まれた。
じぶんにとっては、真ん中だったね。

地方 と 意識したのは
いつのときから だったのか。
世界の裏でしなまを 知ったとき？
じぶんの物語を つまらなく感じたとき？
ああ そんなことは
誰にもあるよと、人は言う。

それから いろいろありまして、
いま、地方と世界は 遠くなった。
まちの問題 ではなくて、
遠くは動けそうなる 可能性。
遠くで働くことが
リアルに大勢に 広がってきた。

地方都市 という 言葉の響きさえも、
新たな響きへ、さあどう生きる。

この世界で、
この地で、
このじぶん。

山口銀行 もみじ銀行 北九州銀行 **YMfg**

グラフィック

パーパス浸透 -コミュニケーション-

<ブランドコミュニケーションブック>



YMFGが目指す未来を
全てのステークホルダーに
共有していく

I . 2022年度中間決算概要

2022年度中間決算概要（FG連結）

(億円)	2021年度	2022年度	前年同期比
	中間期	中間期	
コア業務粗利益	536	546	+10
資金利益	433	447	+14
うち預貸金利益	328	376	+48
うち有価証券利息配当金	121	86	▲ 35
うち投信解約益	69	26	▲ 43
役務取引等利益	85	83	▲ 1
経費（▲）（臨時処理分除く）	325	308	▲ 16
コア業務純益	210	238	+27
投信解約益除く	141	212	+70
経常利益	161	166	+5
特別損益	44	▲ 1	▲ 46
親会社株主に帰属する当期純利益	121	122	+1
与信関係費用（▲）	41	3	▲ 37
経費（▲）（臨時処理分含む）	307	307	+0
貸出金収益（3行合算）※1	324	332	+7
うち邦貨貸出金収益	301	300	▲ 1
うち外貨貸出金収益	23	32	+8
有価証券運用収益（3行合算）※2	70	21	▲ 48
うち純投資運用	57	0	▲ 56
うち政策投資株式関連収益等	12	21	+8

決算概要

コア業務純益(投信解約益除く)

以下を主因として増益

- 金利スワップ解約益※3 (+ 35)
- 経費 (▲) (+ 16)
- 役務関連収益 (+ 9)
- 貸出金収益 (+ 7)

コア業務純益（投信解約益および金利スワップ解約益※3除く）
183億円（前年同期比+35億円）

経常利益

以下を主因として増益

- 与信関係費用 (▲) (+ 37)
- 役務関連収益 (+ 9)
- 貸出金収益 (+ 7)
- 有価証券運用収益 (▲48)

特別損益

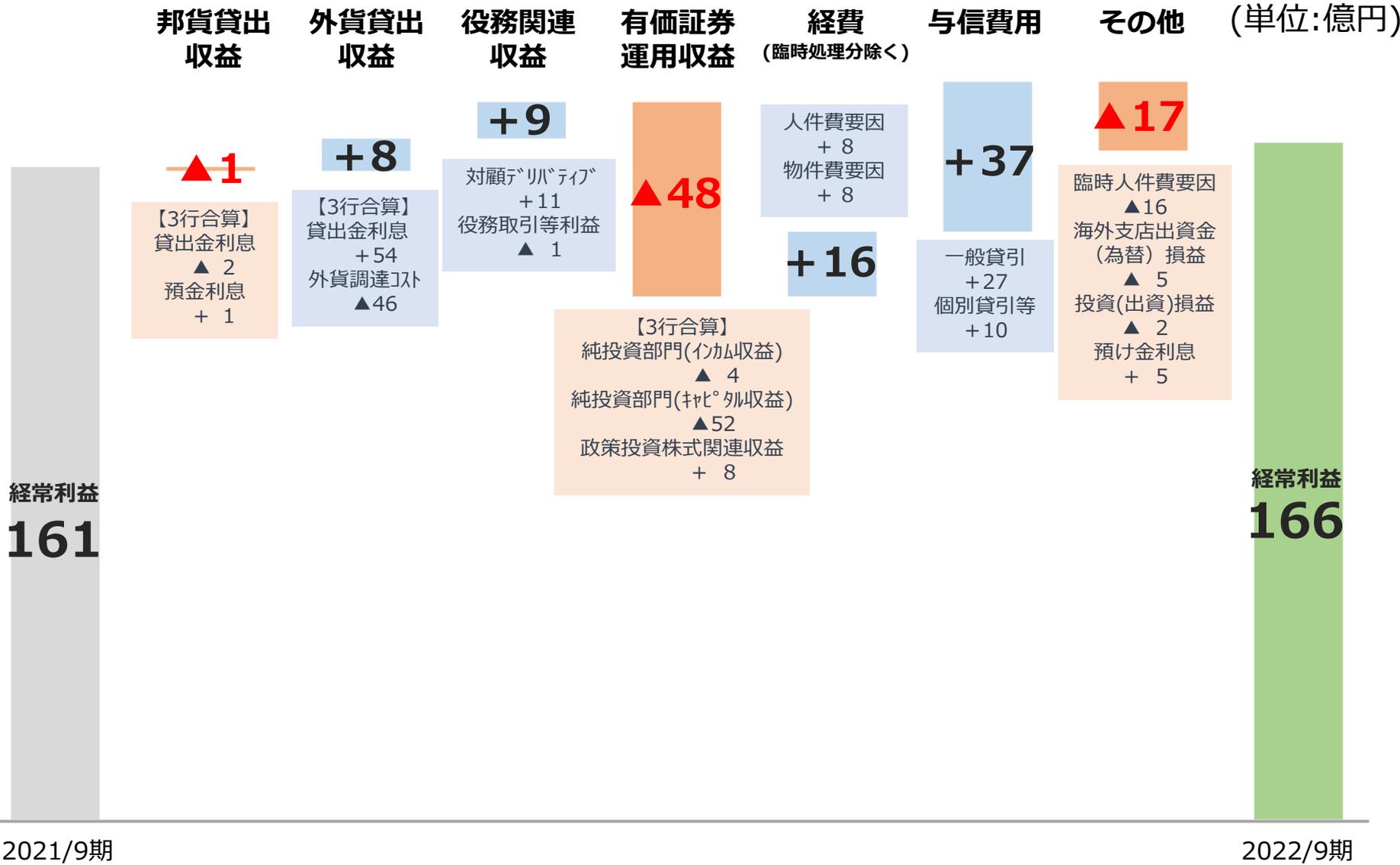
前年同期に計上した以下要因が剥落し減少

- 退職給付信託内株式の返還益 (+ 91)
- 確定拠出年金への資金拠出 (▲12)
- 経年劣化した社宅等の減損 (▲33)

※1 貸出金利息+調達コスト (▲) +海外支店損益 ※2 外貨調達コスト含む

※3 国内債券・外国債券のヘッジ損益（純投資有価証券運用事業）

經常利益増減要因 (FG連結)



2021/9期

2022/9期

2022年度中間決算概要（銀行単体）

経常利益（3行合算）は前年同期比+5億円

投信解約益除くコア業務純益（3行合算）は前年同期比+69億円

(億円)	3行合算		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
コア業務粗利益	503	+15	288	+10	147	▲ 1	68	+6
資金利益	451	+14	263	+20	128	▲ 8	59	+2
うち預貸金利益	379	+48	211	+41	109	+3	58	+3
うち有価証券利息配当金	86	▲ 35	59	▲ 26	23	▲ 9	3	+0
うち投信解約益	26	▲ 43	17	▲ 30	8	▲ 12	0	+0
役務取引等利益	45	▲ 1	30	▲ 2	11	+0	3	+0
経費（▲）（臨時処理分除く）	237	▲ 11	119	▲ 6	83	▲ 3	34	+0
コア業務純益	266	+26	168	+16	64	+2	33	+7
投信解約益除く	240	+69	151	+46	55	+15	33	+7
経常利益	198	+5	123	▲ 22	42	+18	31	+9
当期純利益	158	+3	93	▲ 4	41	+0	22	+7
与信関係費用（▲）	2	▲ 38	▲ 10	▲ 21	8	▲ 12	4	▲ 3
経費（▲）（臨時処理分含む）	234	+4	117	+1	82	+2	34	+0
貸出金収益 ^{※1}	332	+7	171	+6	104	+0	56	+1
うち邦貨貸出金収益	300	▲ 1	145	+0	100	▲ 1	53	+0
うち外貨貸出金収益	32	+8	25	+6	4	+1	2	+1
有価証券運用収益 ^{※2}	21	▲ 48	14	▲ 48	3	+0	3	+0
うち純投資運用	0	▲ 56	0	▲ 55	0	▲ 1	0	+0
うち政策投資株式関連収益等	21	+8	14	+6	3	+1	3	+0

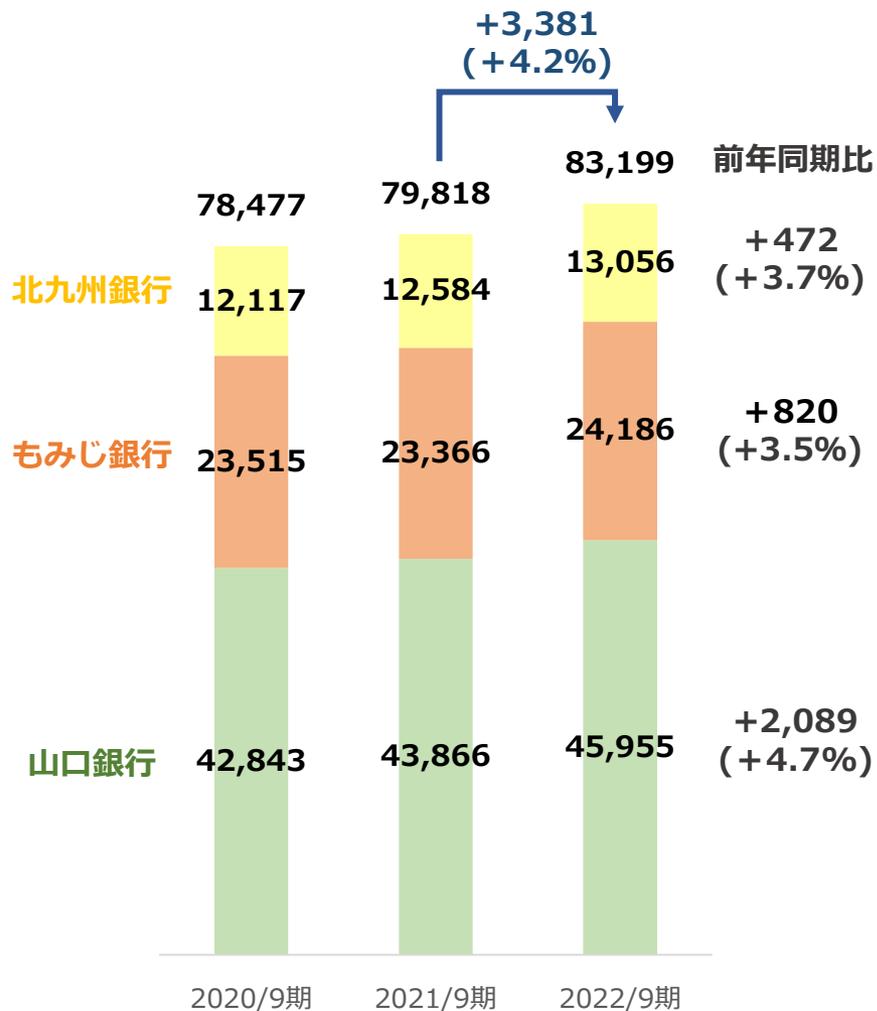
※1 貸出金利息+調達コスト（▲）+海外支店損益 ※2 外貨調達コスト含む

Copyright(C) 2022 Yamaguchi Financial Group, Inc. All Rights Reserved.

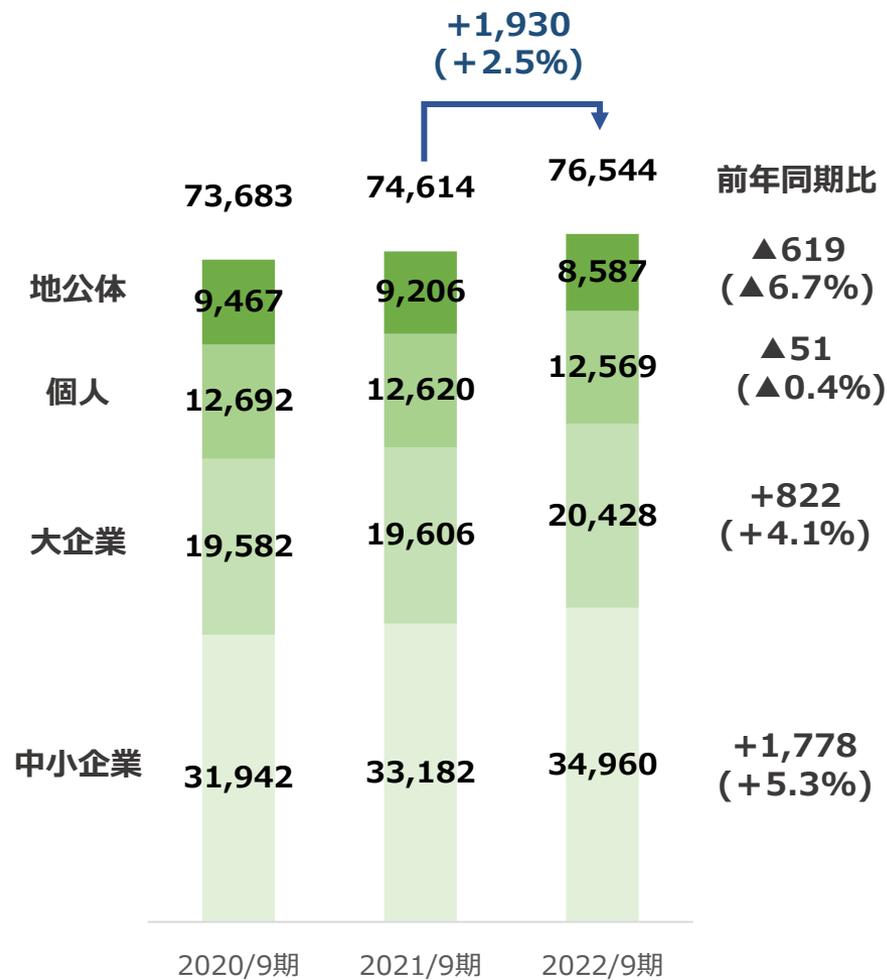
貸出金平残

貸出金平残は前年同期比+3,381億円 (+4.2%)
 増加の大半は法人(大企業+中小企業)向け融資

■ 貸出金平残(銀行別) (単位: 億円)



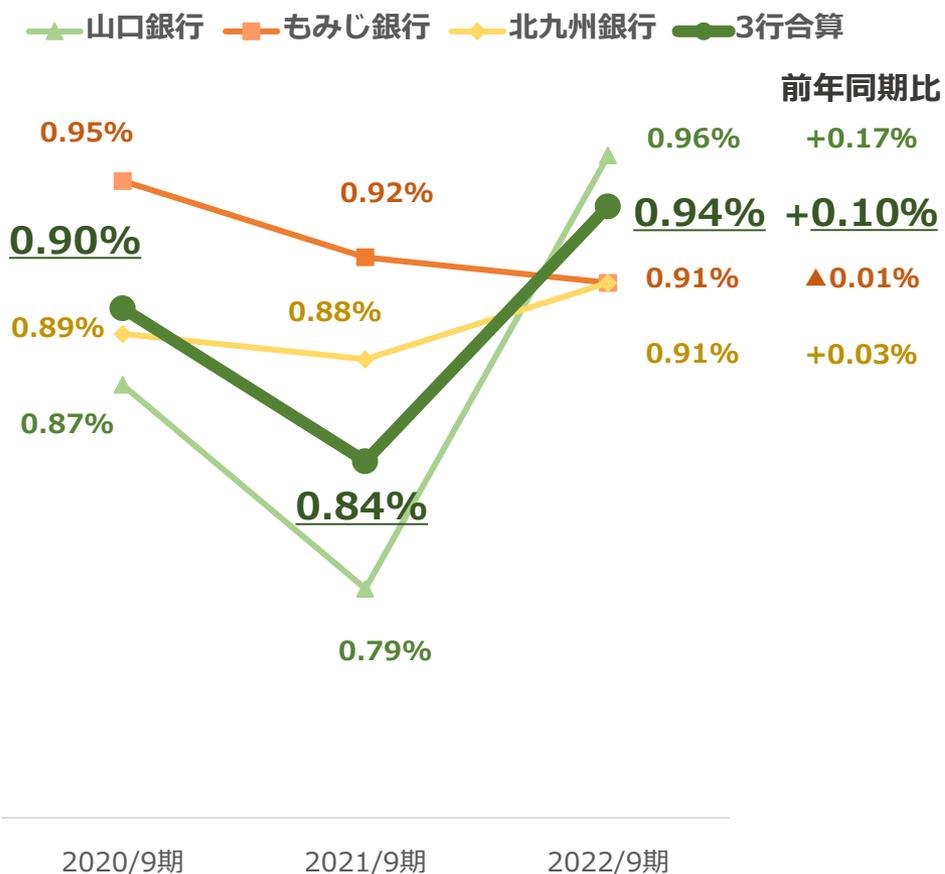
■ 邦貨貸出金平残(事業体別) (単位: 億円)



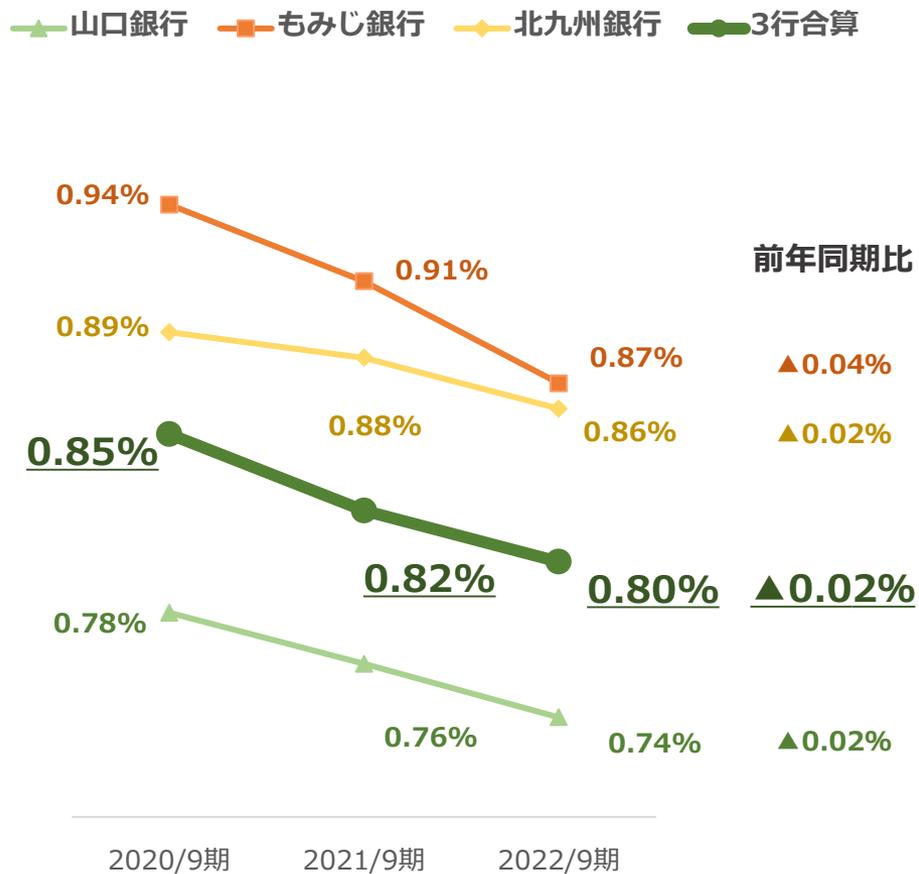
貸出金利回り

貸出金利回り（3行合算）は、外貨貸出金利回りの上昇を主因に前年同期比+0.10%

貸出金利回り



邦貨貸出金利回り

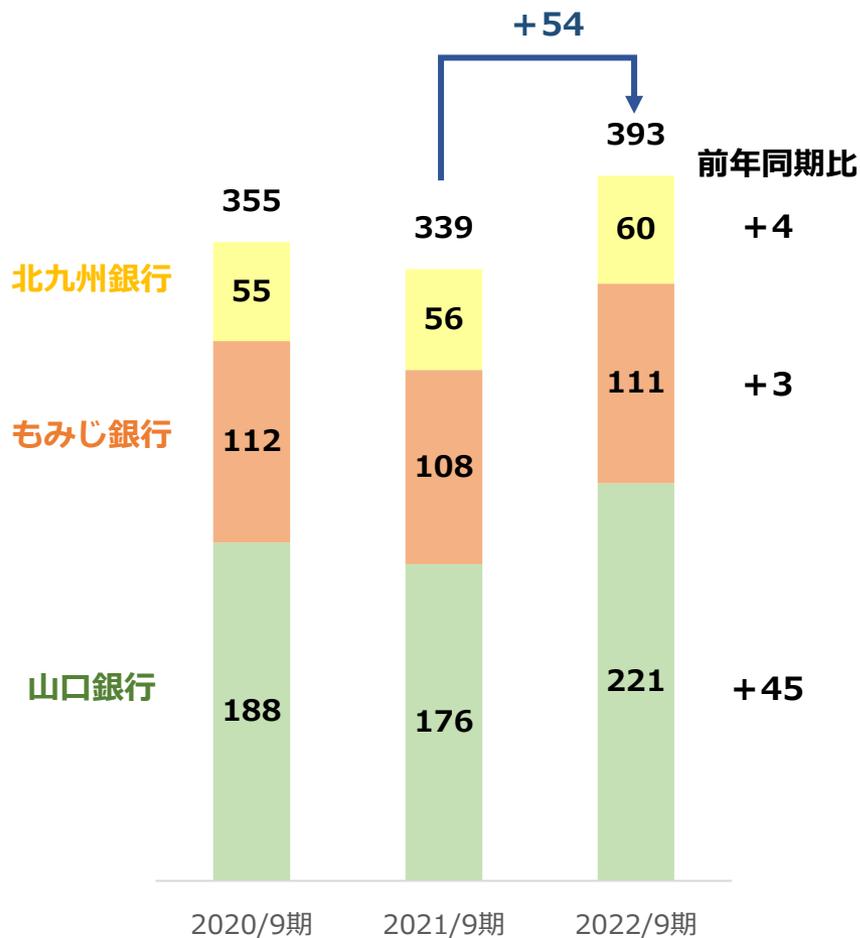


貸出金利息

貸出金利息は前年同期比54億円増加

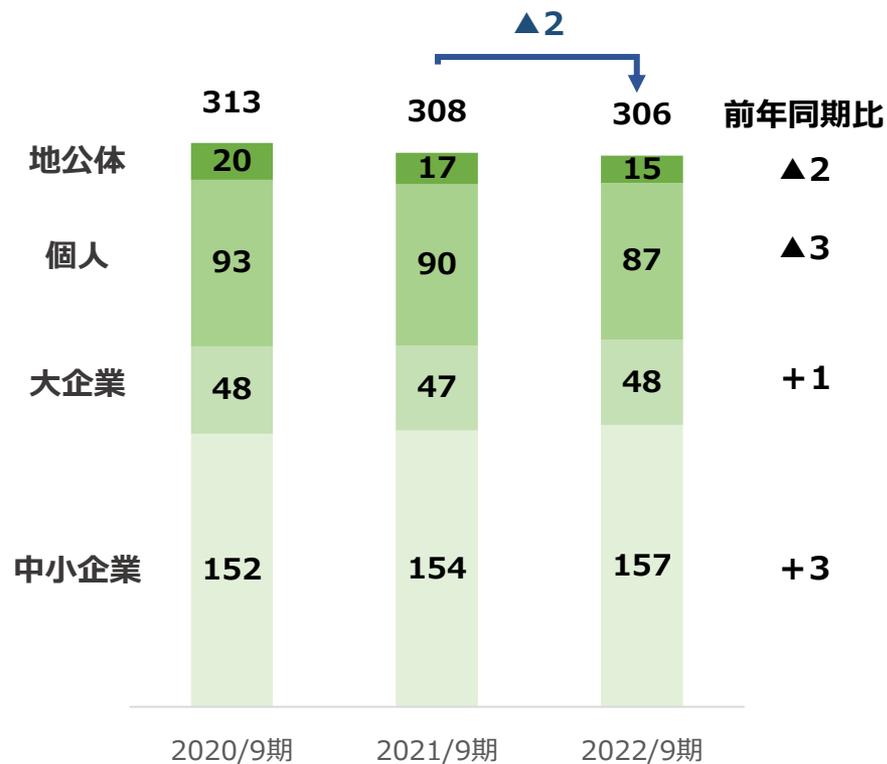
貸出金利息（銀行別）

（単位：億円）



邦貨貸出金利息（事業体別）

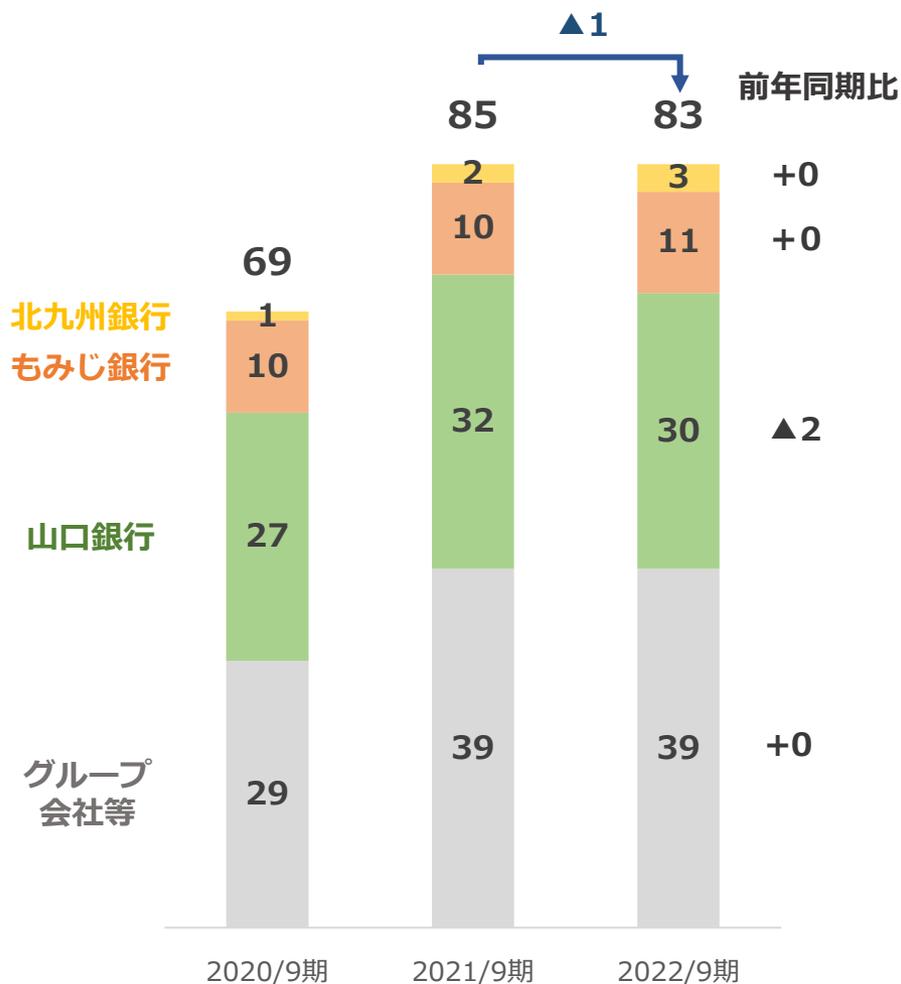
（単位：億円）



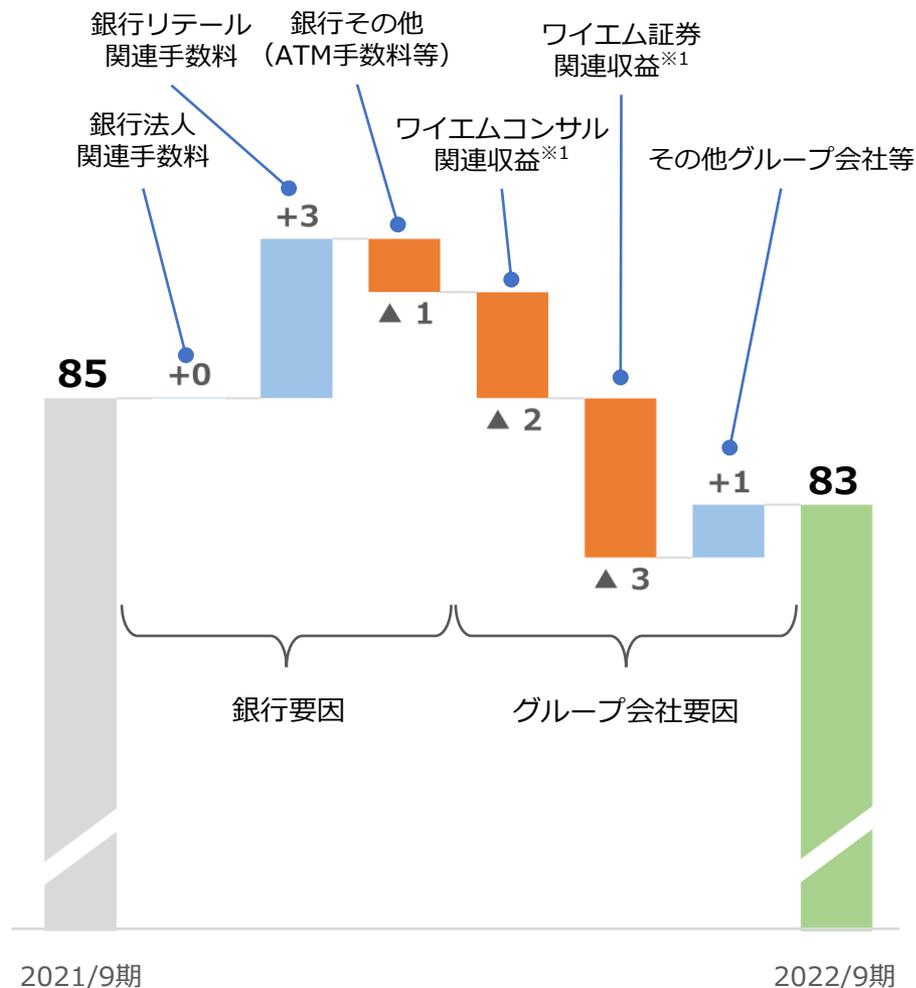
役務取引等利益

ワイエム証券関連収益の減少等により、役務取引等利益は前年同期比▲1億円

■ 役務取引等利益（FG連結） （単位：億円）



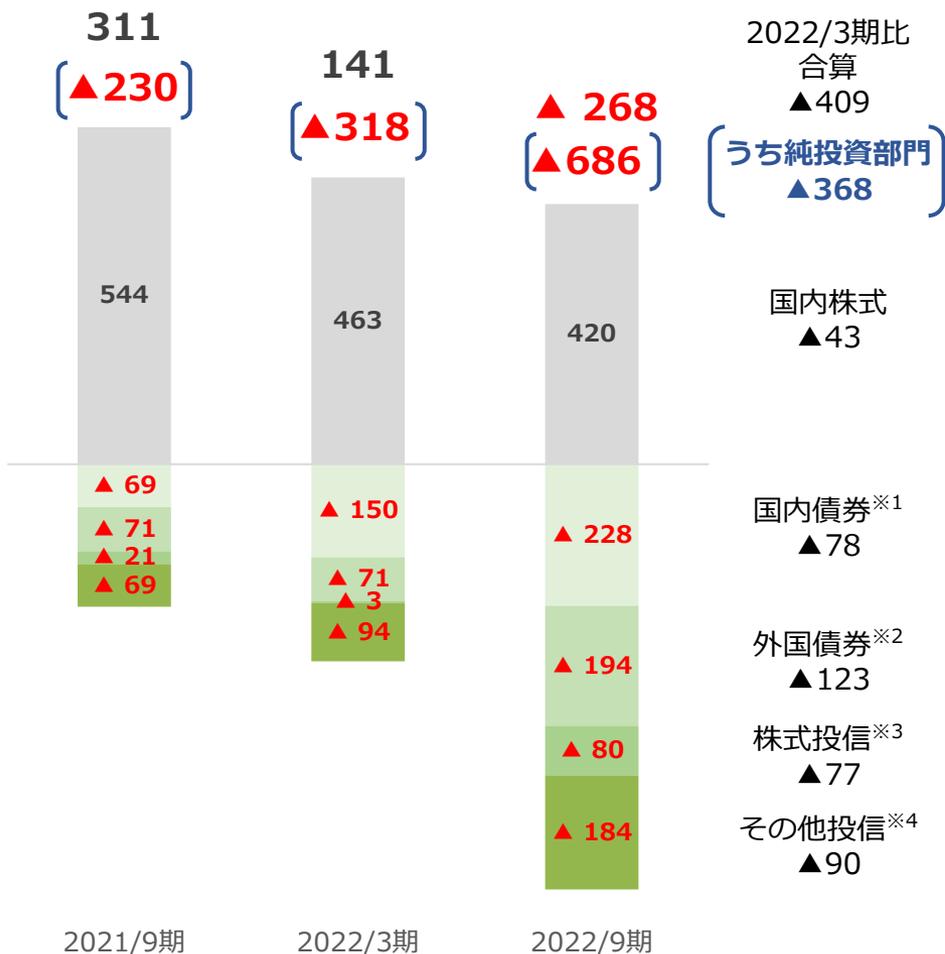
■ 主な変動要因（FG連結） （単位：億円）



※1 銀行への還元手数料含む

金利上昇の影響等により、国内外債券を中心に評価損が拡大

■ その他有価証券評価損益（3行合算）（単位：億円）



■ 有価証券時価残高（3行合算）※5（単位：億円）

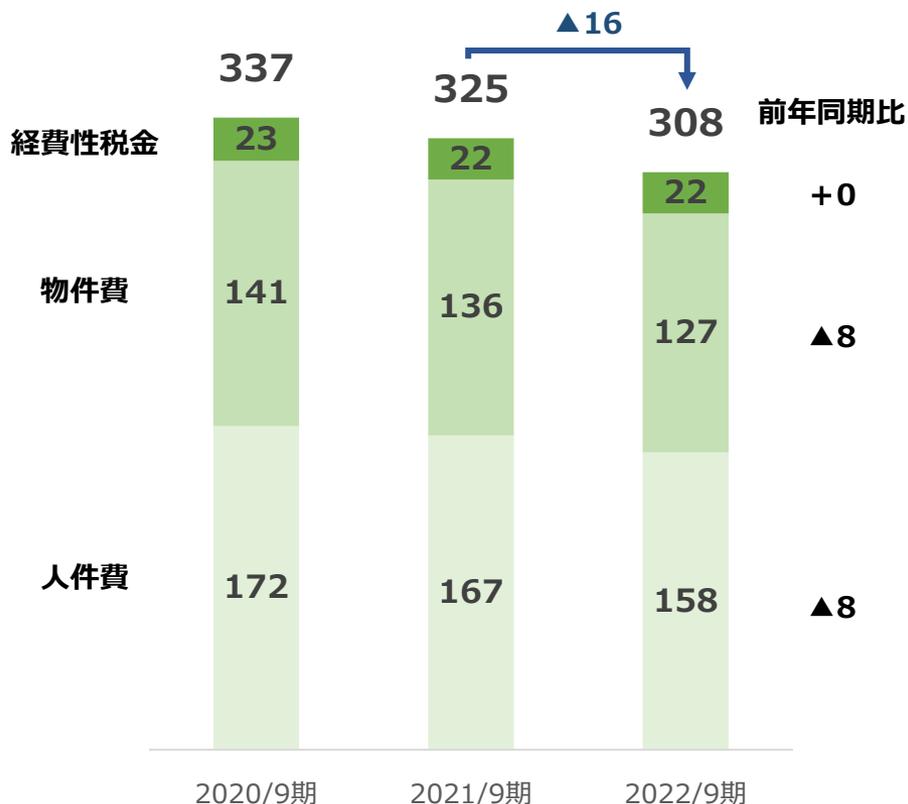


※1 国内債券：金利スワップ（繰延ヘッジ）の評価損益含む
 ※2 外国債券：金利スワップ（繰延ヘッジ）の評価損益含む
 ※3 株式投信：国内外株式投信（ベアファンド等含む）
 ※4 その他投信：外債ファンド・マルチアセットファンド等

※5 その他有価証券、満期保有目的有価証券含む

経費（臨時処理分除く）および修正OHR（投信解約益除く）ともに減少

■ 経費（臨時処理分除く）（FG連結）（単位：億円）

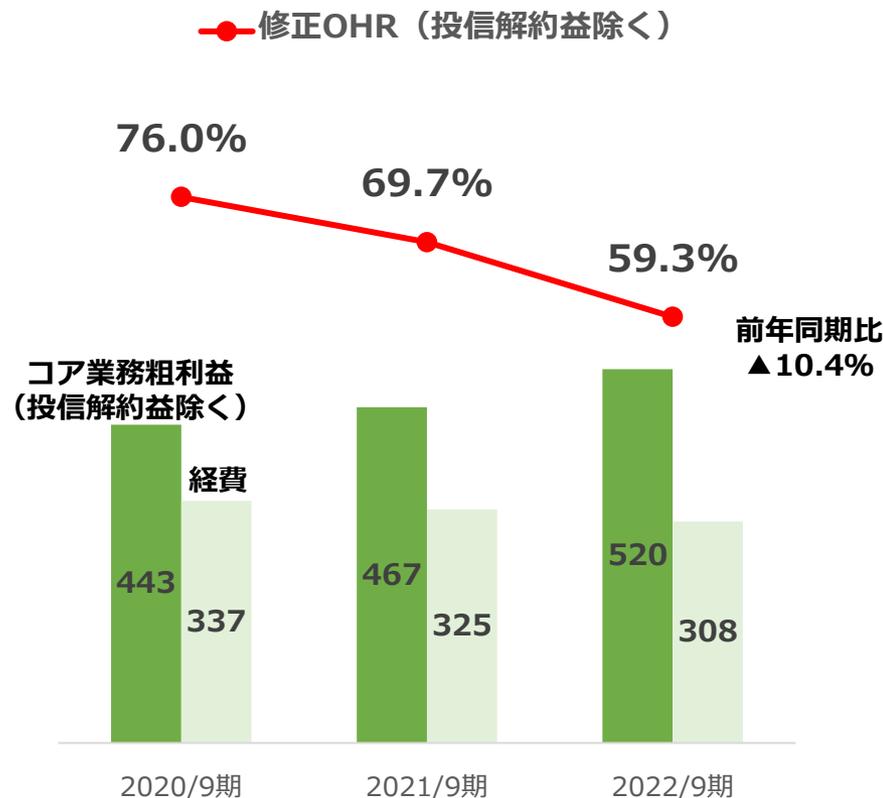


＜主な変動要因＞

- ・ 人件費：人員減少による給与等の減少
- ・ 物件費：預金保険料・固定資産償却費等の減少

■ 修正OHR（投信解約益除く）（FG連結）（単位：億円）

※修正OHR（投信解約益除く）＝経費÷コア業務粗利益（投信解約益除く）



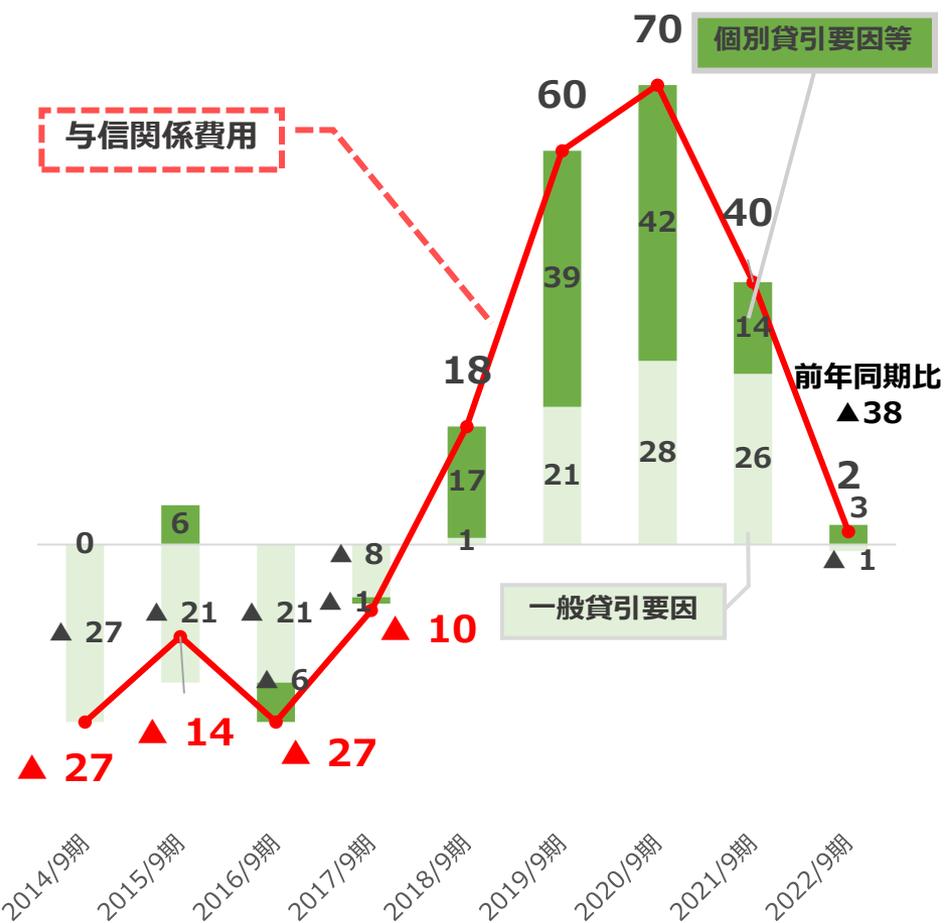
＜参考：金利スワップ解約益控除後＞

2021/9期	2022/9期	前年同期比
68.6%	62.7%	▲5.9%

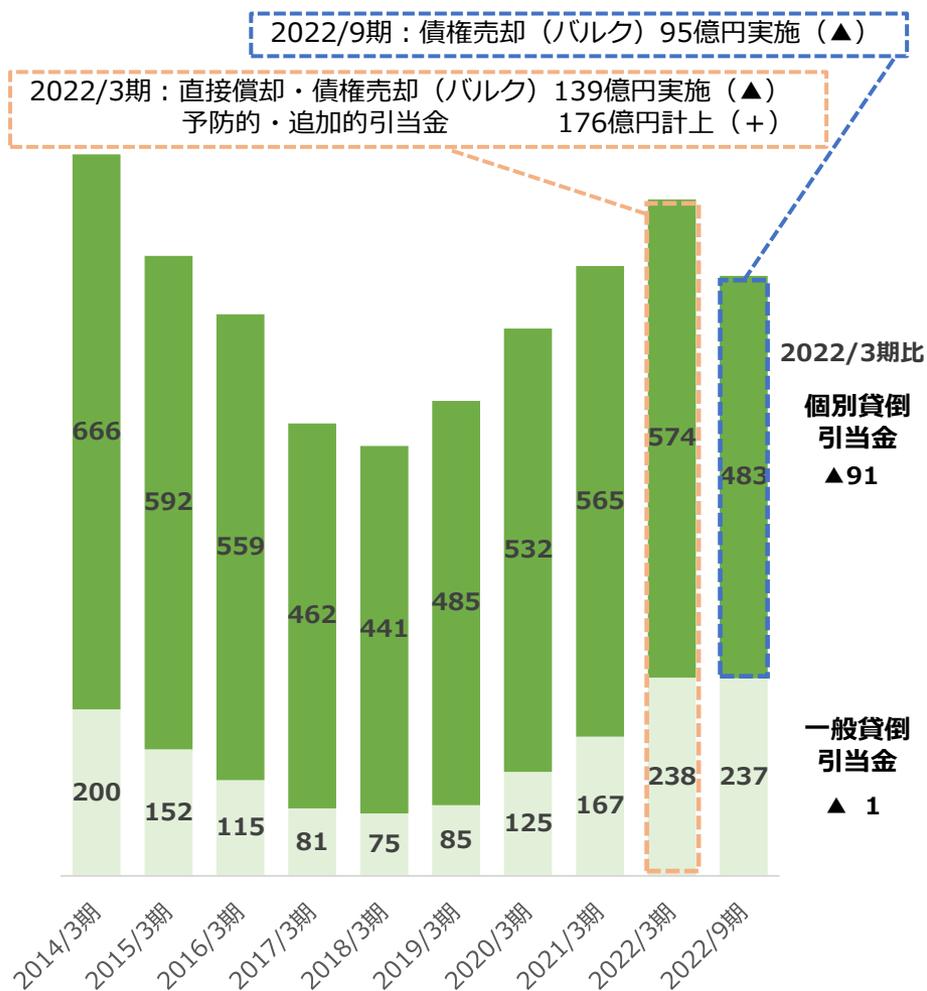
与信費用/貸倒引当金

与信関係費用（3行合算）は2億円を計上
 （2022/3期に追加的・予防的引当金として176億円計上済）

与信関係費用（3行合算）（単位：億円）



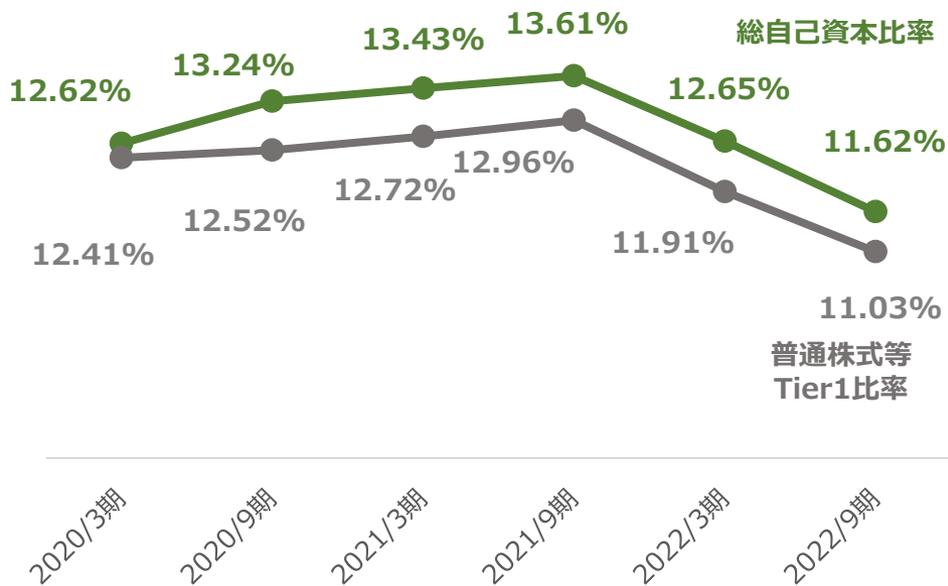
貸倒引当金残高（FG連結）（単位：億円）



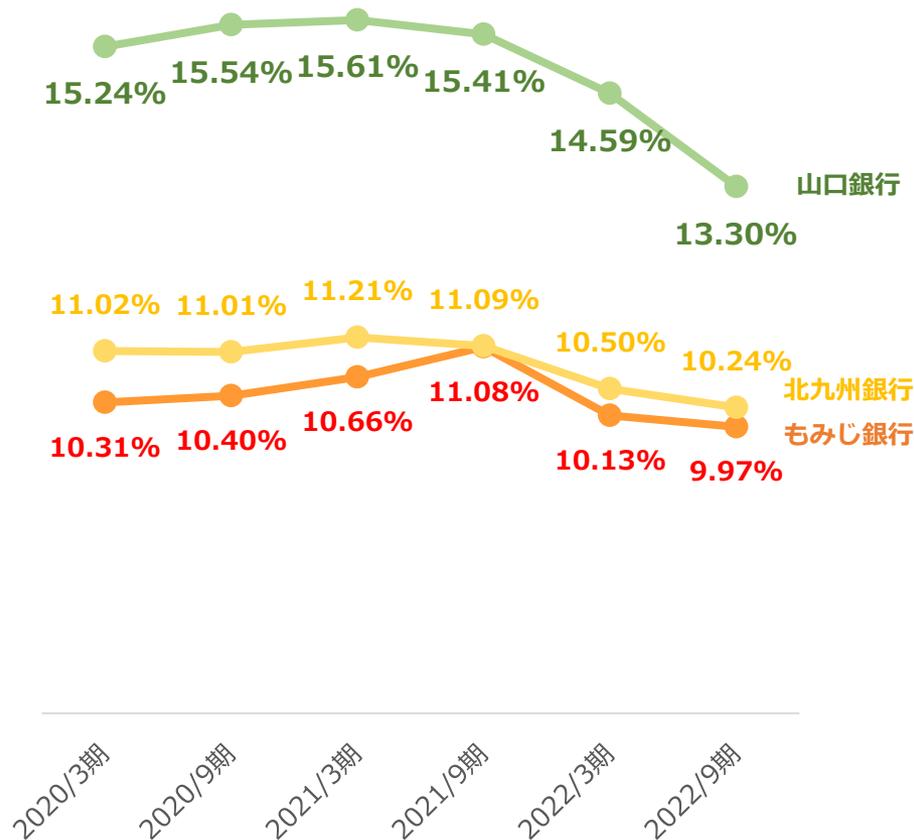
自己資本比率（FG連結・銀行単体）

その他有価証券評価差額金の減少に加え、
自己株式取得、貸出金リスクアセット増加等により総自己資本比率は低下

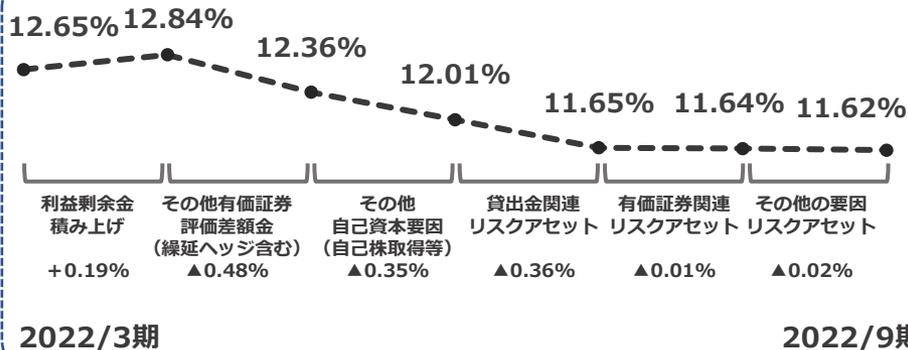
FG連結



銀行単体



◆主な変動要因（FG連結総自己資本比率）



※山口銀行は国際統一基準により、もみじ銀行および北九州銀行は国内基準によりそれぞれ算出

2022年度通期業績予想（FG連結・銀行単体）

経常利益250億円、当期純利益170億円の業績予想は変更しない

(億円)	FG連結		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
	通期	前年比	通期	前年比	通期	前年比	通期	前年比
経常利益	250	+326	220	+166	50	+130	43	+24
親会社株主に帰属する当期純利益	170	+300	165	+137	47	+112	32	+29

※ご参考 中間期までの進捗率

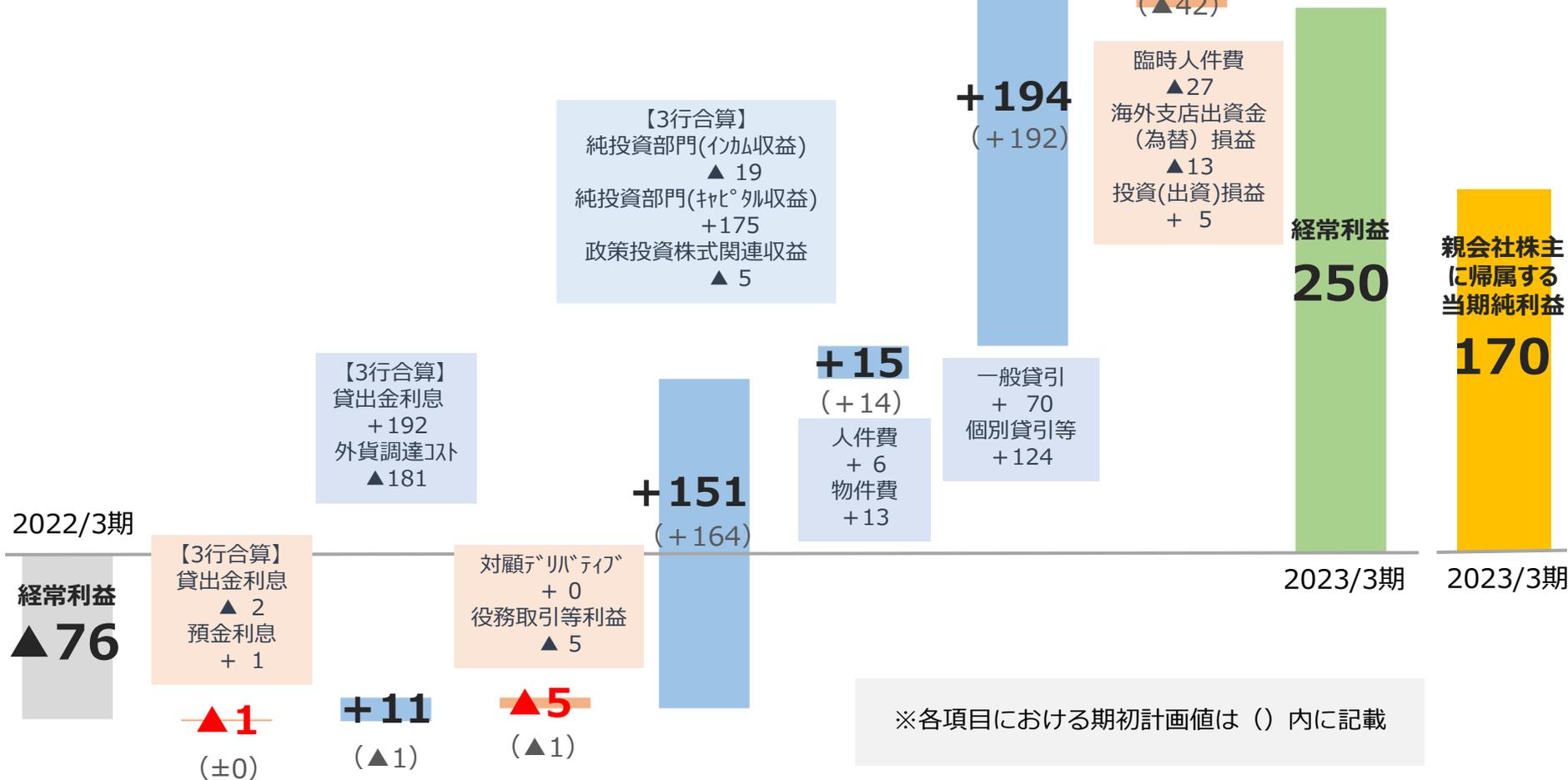
(億円)	FG連結		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
	中間期	進捗率	中間期	進捗率	中間期	進捗率	中間期	進捗率
コア業務粗利益	546	57%	288	62%	147	56%	68	54%
資金利益	447	60%	263	66%	128	54%	59	51%
役務取引等利益	83	46%	30	45%	11	45%	3	55%
経費（▲）（臨時処理分除く）	308	50%	119	51%	83	49%	34	50%
コア業務純益	238	72%	168	73%	64	68%	33	58%
投信解約益除く	212	64%	151	66%	55	59%	33	58%
経常利益	166	67%	123	56%	42	86%	31	73%
（親会社株主に帰属する）当期純利益	122	72%	93	57%	41	88%	22	72%
与信関係費用（▲）	3	13%	▲ 10	136%	8	42%	4	36%
経費（▲）（臨時処理分含む）	307	49%	117	50%	82	49%	34	50%
貸出金収益（3行合算）※1	332	52%	171	52%	104	51%	56	51%
有価証券運用収益（3行合算）※2	21	102%	14	52%	3	-	3	-

※1 貸出金利息+調達コスト（▲）+海外支店損益 ※2 外貨調達コスト含む

2022年度通期業績予想 経常利益増減要因 (FG連結)

邦貨貸出 外貨貸出 役務関連 有価証券 経費 与信費用 その他
 収益 収益 収益 運用収益 (臨時処理 分除く)

(単位:億円)



※各項目における期初計画値は () 内に記載

Ⅱ. 中期経営計画2022 事業別収益状況

中期経営計画2022目標経営指標

新たな競争環境に対応した財務体質構築に向けて、着実に結果を出し、前進するステージ

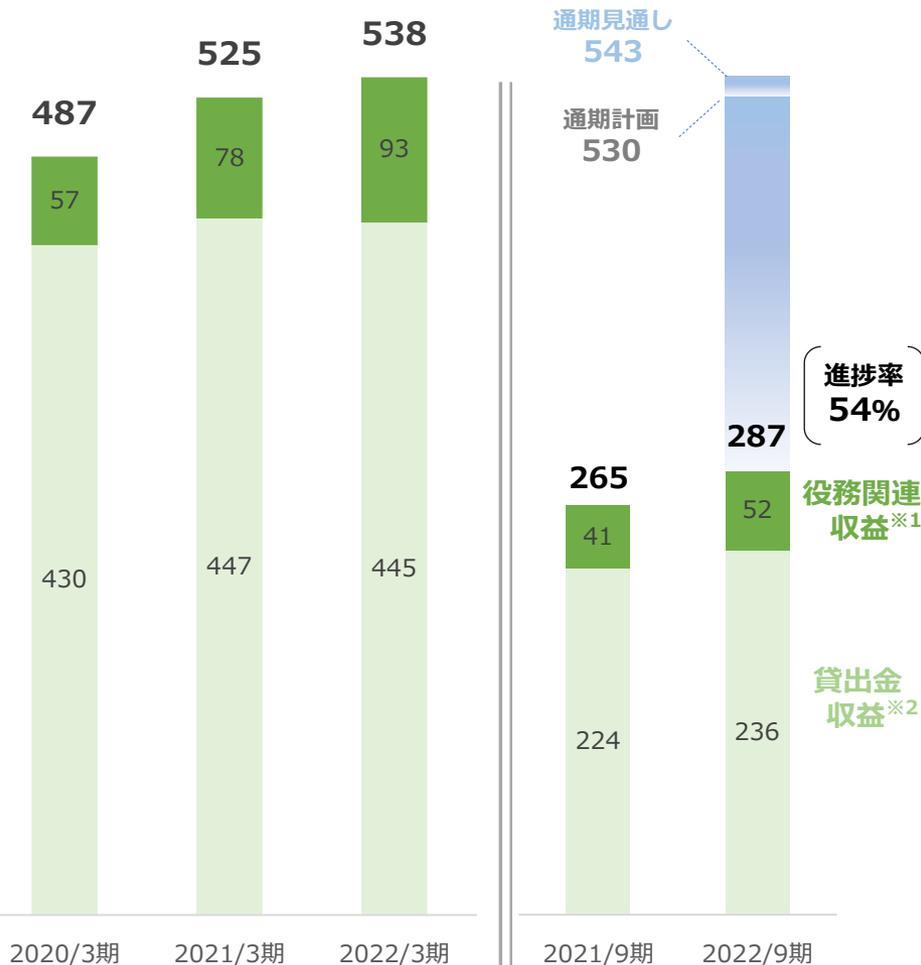
	2021年度 (実績)	2022年度	2023年度	2024年度
経常利益 当期純利益	▲76億円 ▲130億円	250億円 170億円	350億円 240億円	475億円 <u>330億円</u>
ROE	—	2.7%	3.7%	5%程度
修正OHR (投信解約益控除後)	66%	65%	62%	60%程度
総自己資本比率	12.65%	12%程度		

2024年度当期純利益は過去最高益を予定

貸出金収益の増加を中心に前年比プラス、通期計画比進捗率54%

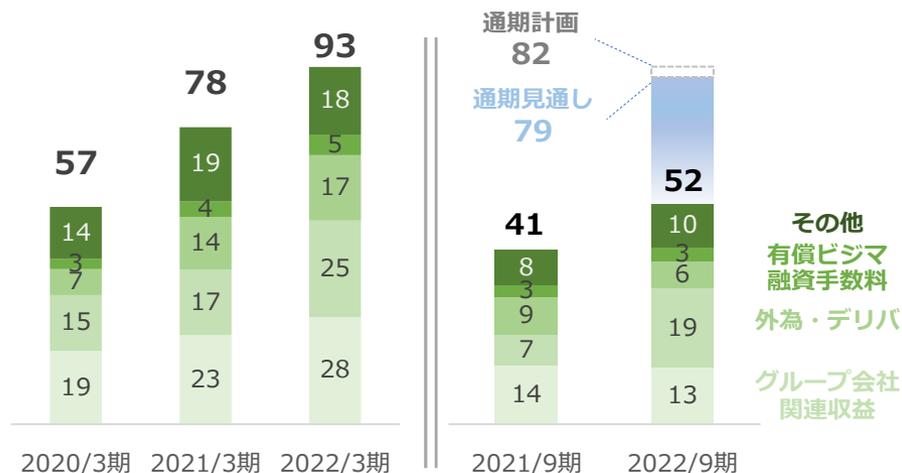
法人事業粗利益

(単位：億円)



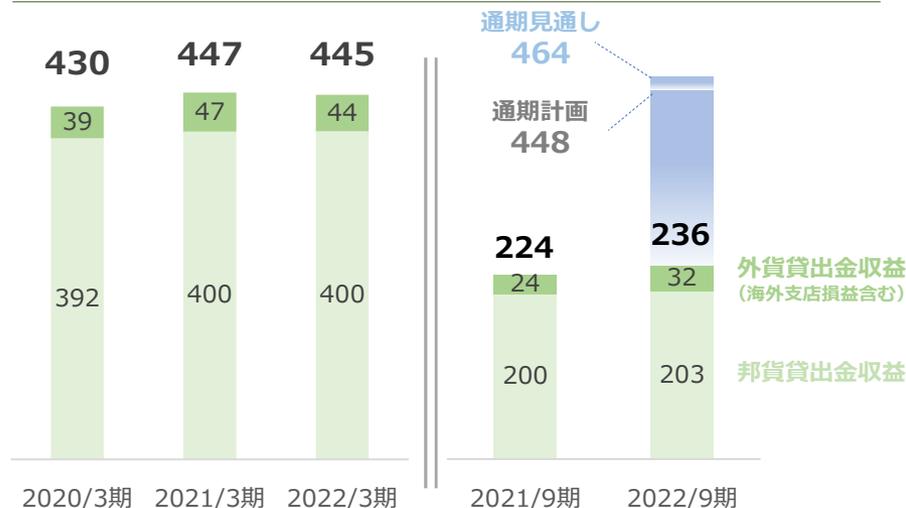
役員関連収益※1

(単位：億円)



貸出金収益※2

(単位：億円)

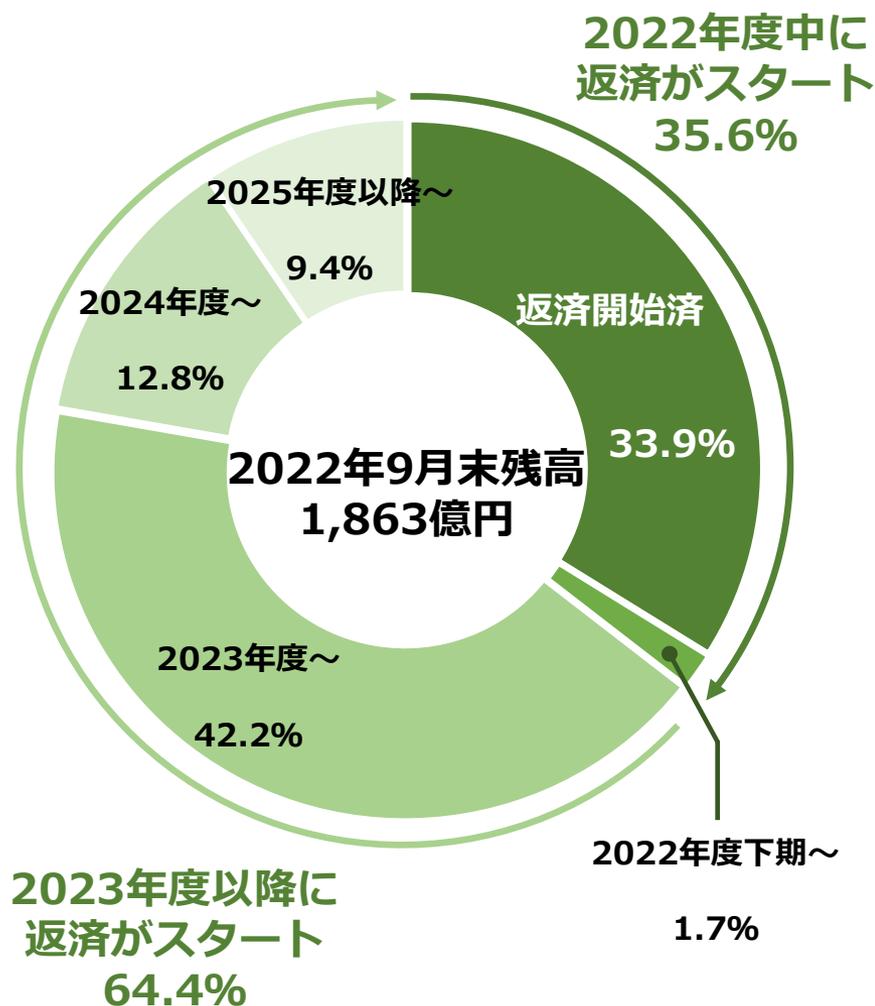


※1 貸出金収益以外（役員取引等利益以外の収益を含む）

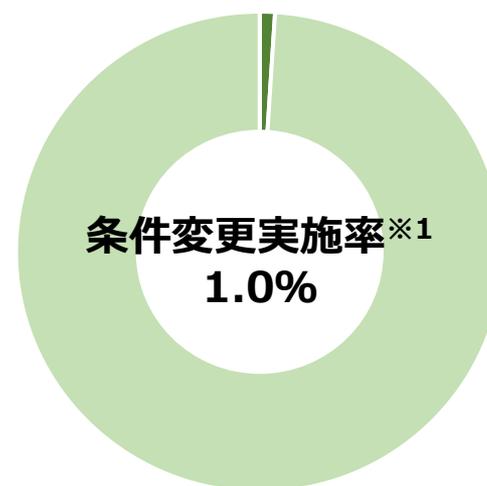
※2 貸出金利息 + 調達コスト(▲) + 海外支店損益

【ご参考】ゼロゼロ融資の状況について

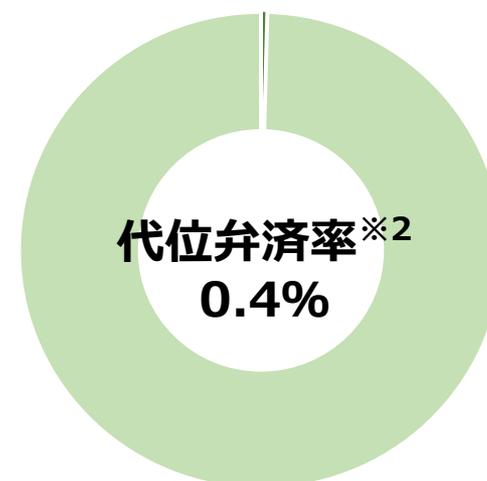
返済開始時期の割合



条件変更および代位弁済の状況



※1 残高ベースで算出



※2 ゼロゼロ融資累計実行額に占める累計代位弁済額の割合

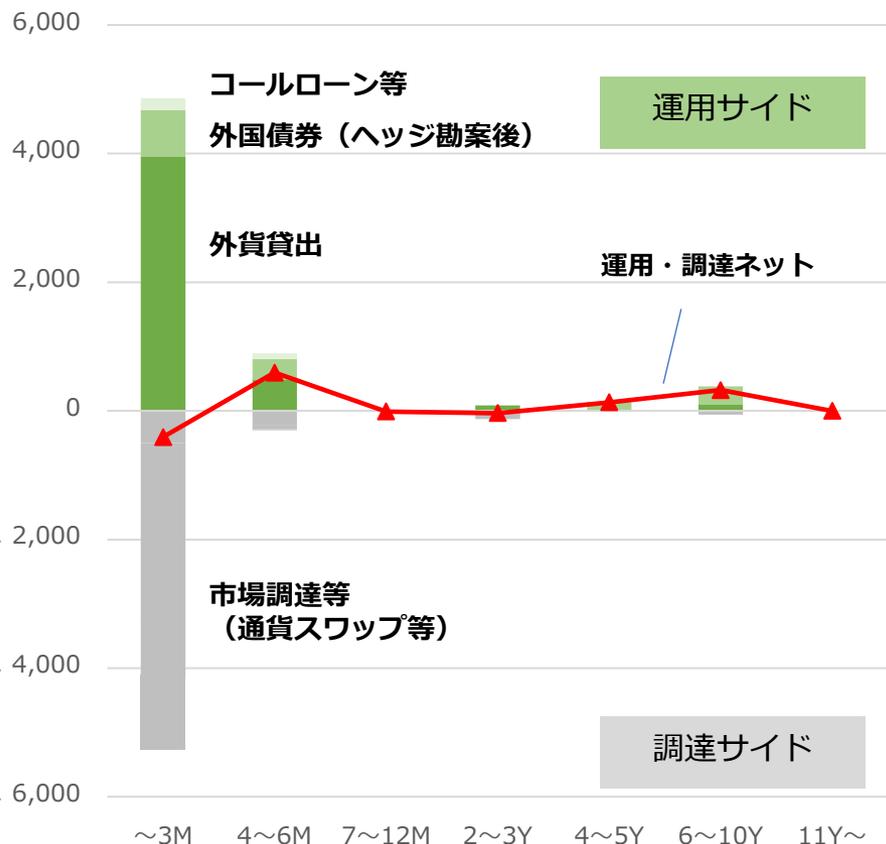
【ご参考】外貨貸出金収益の状況

米ドル金利上昇の影響は収益にプラス作用

米ドル建て資産・負債の金利満期ラダー

運用・調達の間隔は概ね一致しており
金利リスクは限定的

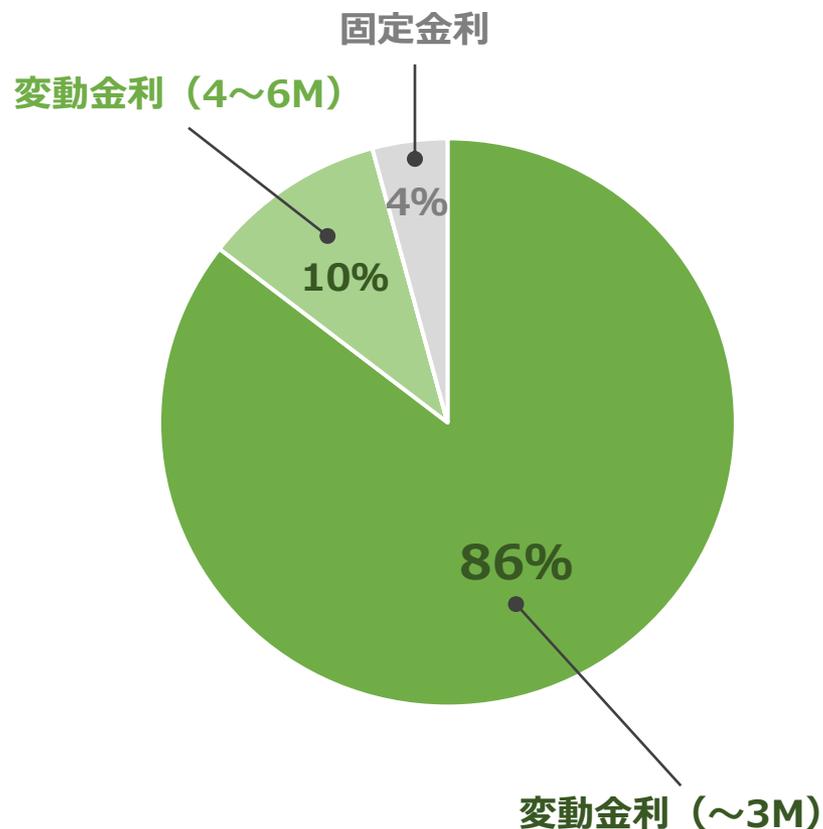
(単位：百万ドル)



(2022/9末時点)

米ドル建て貸出金の金利種別割合

米ドル建て貸出金は変動金利が大半を占めており、
一定の外貨貸出収益・利回りを確保

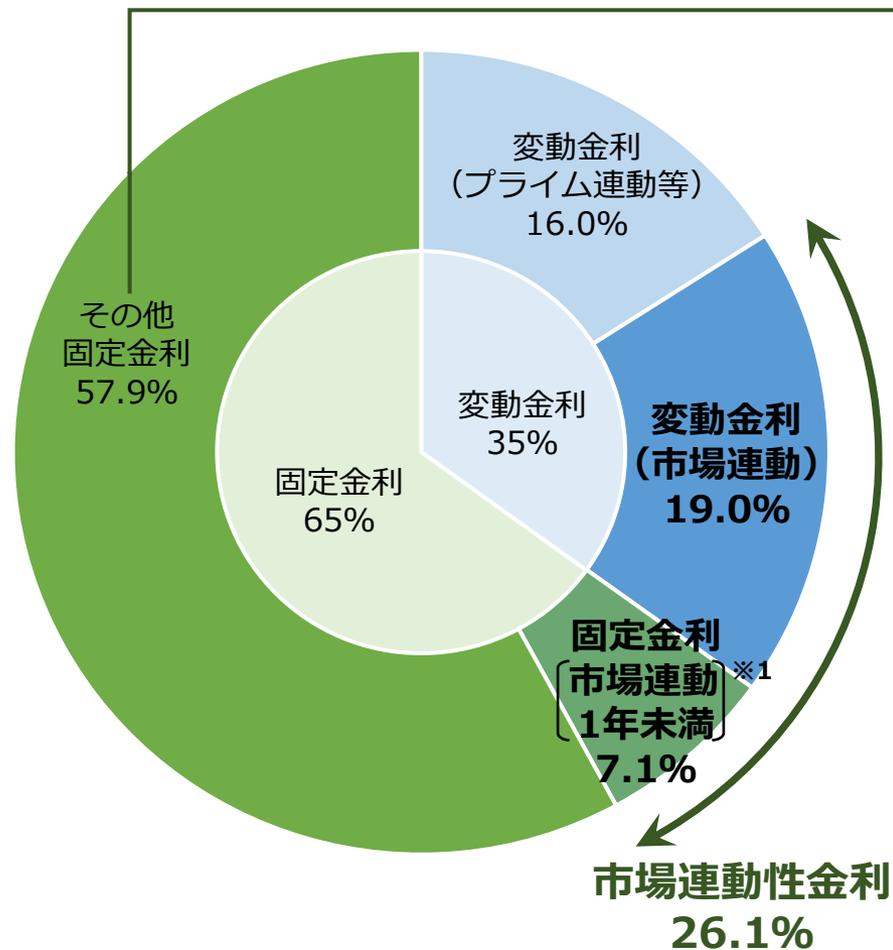


(2022/9末時点)

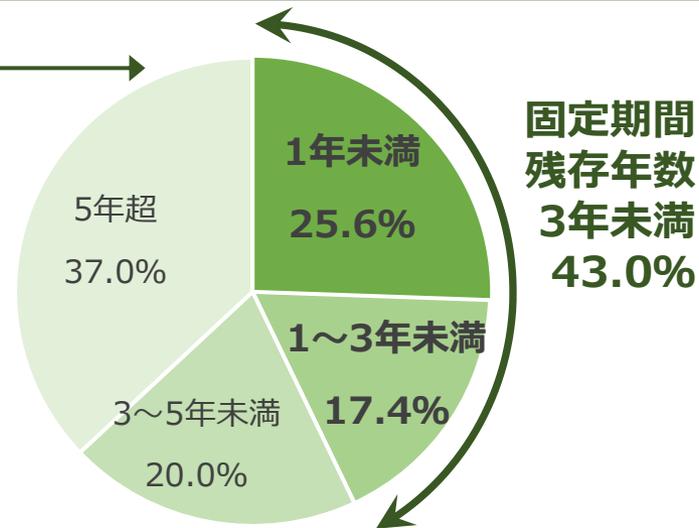
【ご参考】邦貨貸出金の金利構成（2022年9月末時点）

邦貨事業性貸出金の変動金利割合は35%であり、市場金利との連動性が高い貸出金は全体の26.1%
個人向けローンは変動金利が大半を占めている

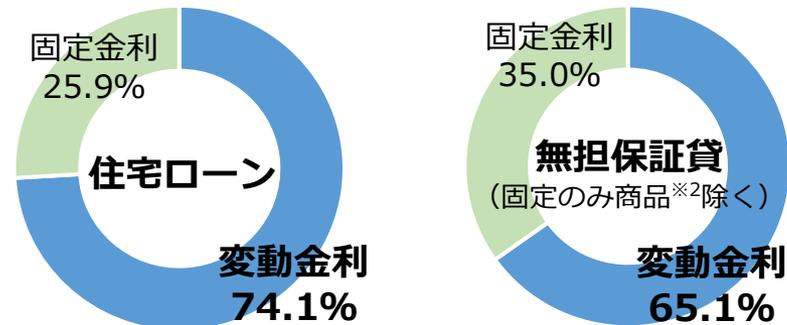
邦貨事業性貸出金の金利種別割合（3行合算）



固定金利残存年数の内訳



個人向けローンの金利種別割合（3行合算）



※1：主にTIBOR連動等の市場連動性が高いもの

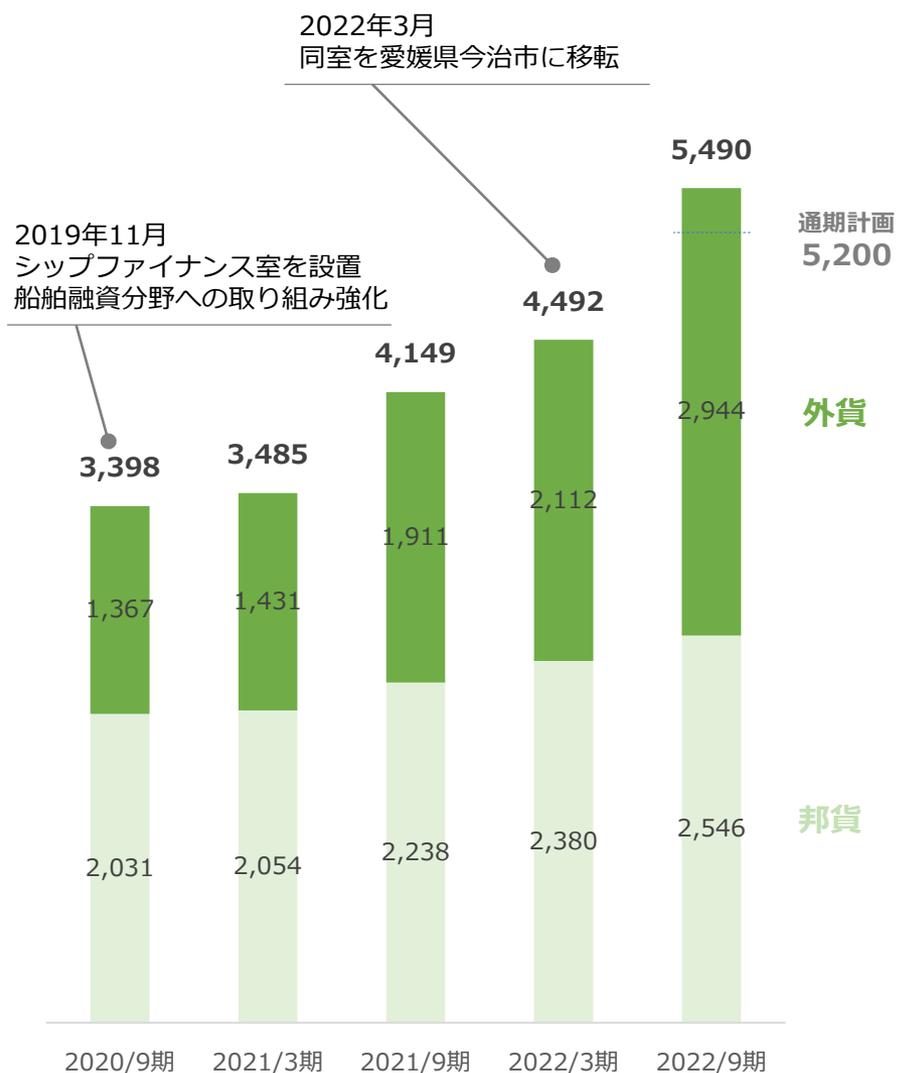
※2：フリーローン等の固定金利のみのローン

コア事業領域－法人事業（シップファイナンス）

協定効果、体制強化によりシップファイナンス残高・スプレッドは順調に推移

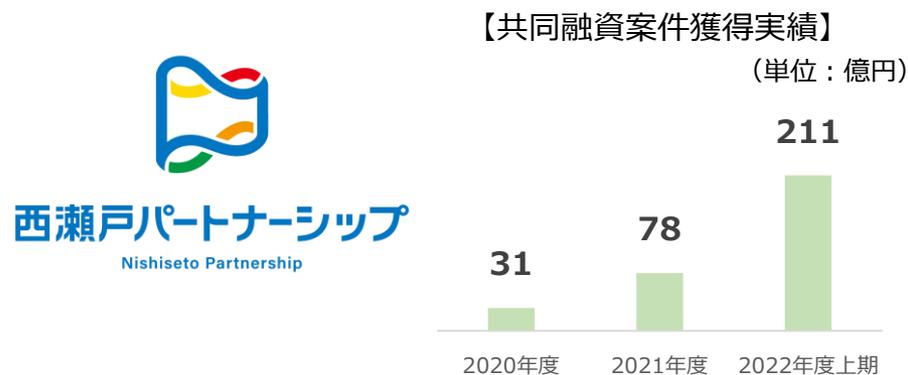
シップファイナンス平残

(単位：億円)

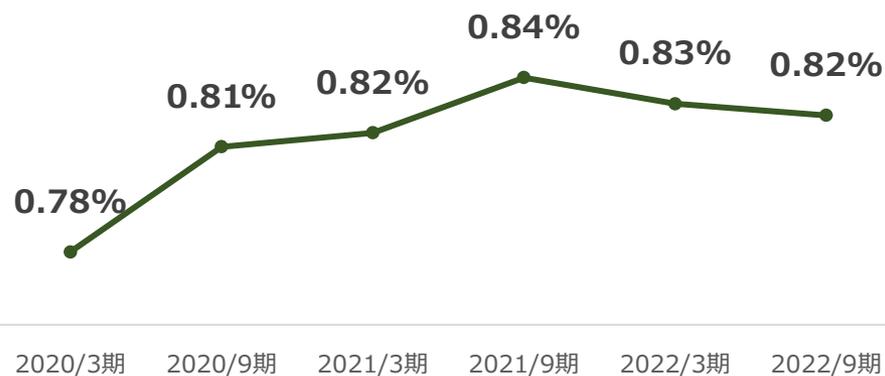


西瀬戸パートナーシップ協定

- ✓ 愛媛銀行と2020年1月に協定締結
- ✓ シップファイナンス分野の知見・ノウハウ共有
- ✓ 連携強化による**共同融資案件獲得増加**



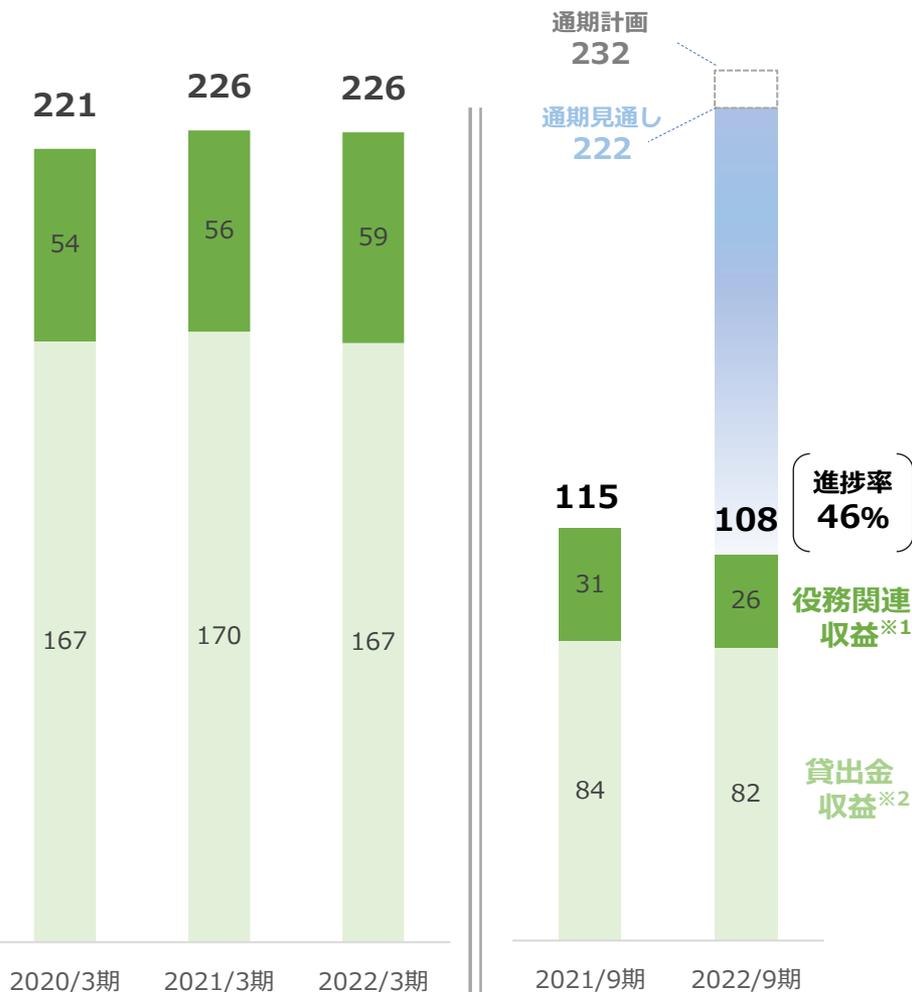
シップファイナンス スプレッド推移



ワイエム証券関連収益の減少を主因に、通期計画比進捗率46%

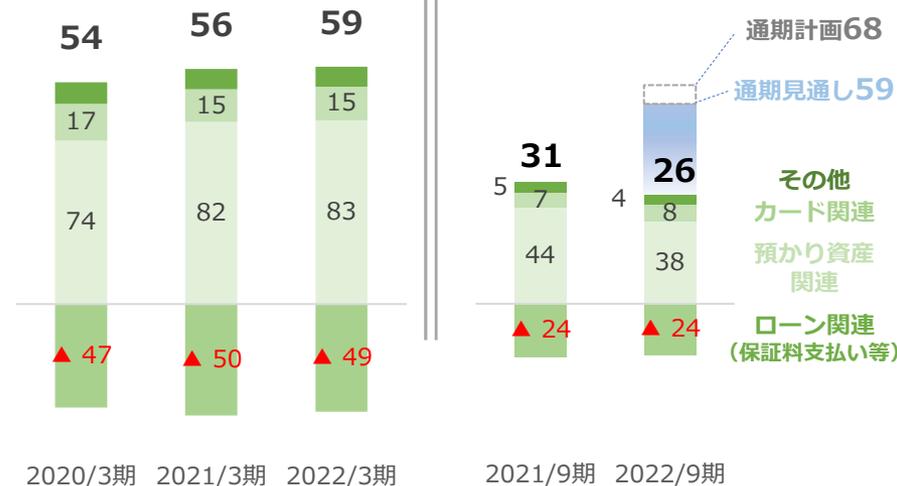
リテール事業粗利益

(単位：億円)



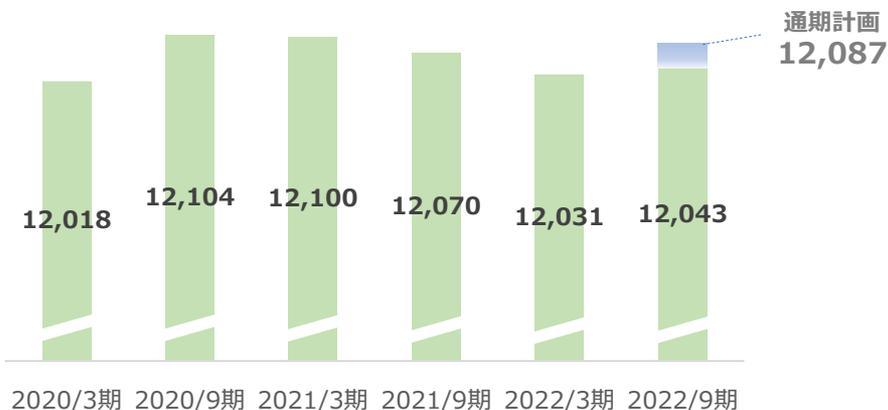
役員関連収益※1

(単位：億円)



有担保ローン平残

(単位：億円)



※1 貸出金収益以外（役員取引等利益以外の収益を含む）

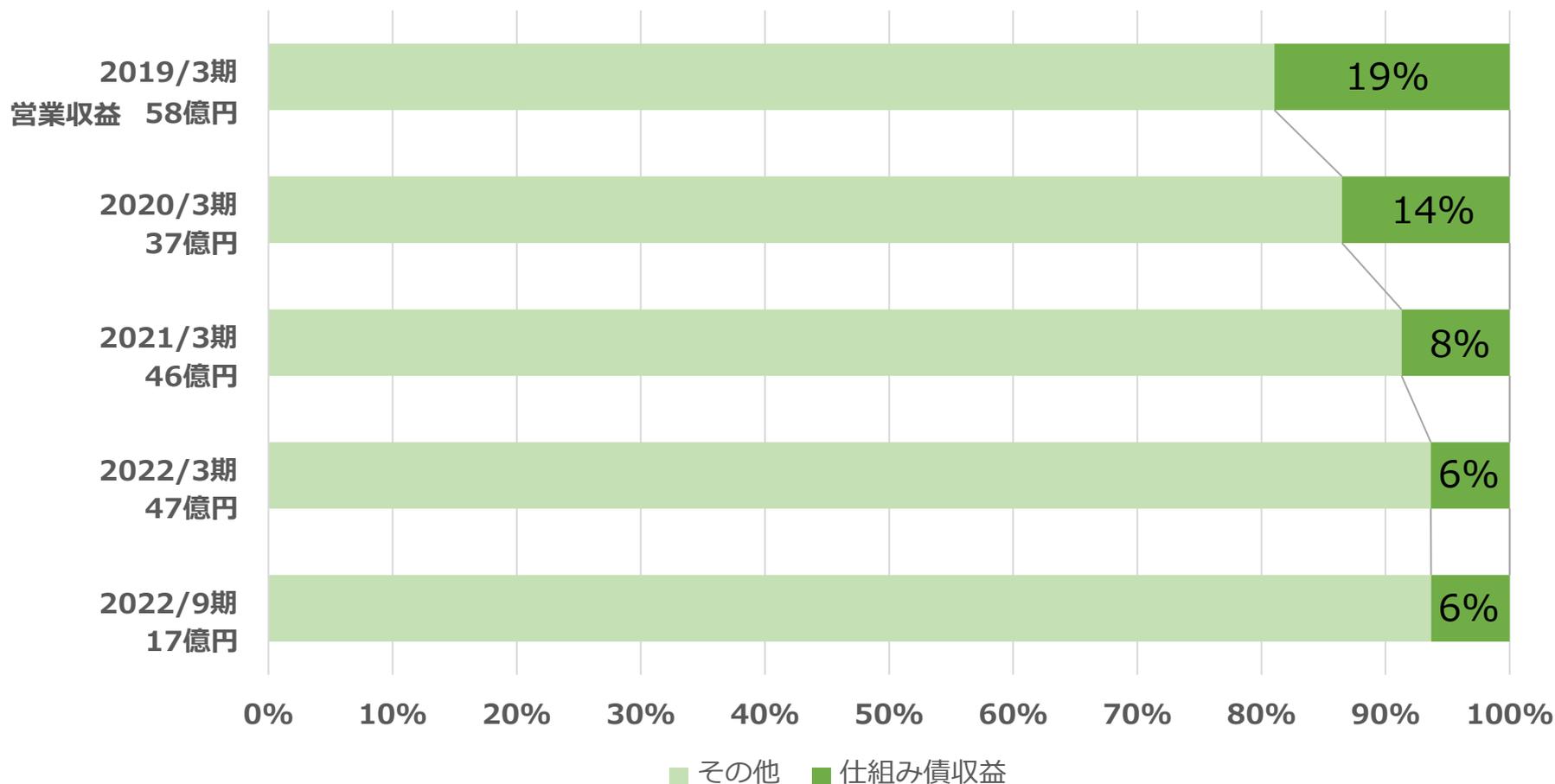
※2 貸出金利息 + 調達コスト(▲)

【ご参考】 仕組み債について

当社グループにおける仕組み債の販売は2022年10月より全面停止

※主な販売主体であるワイエム証券では、従前より販売縮小傾向であり、
2022年9月期の営業収益に占める仕組み債割合は6%程度と収益への影響は限定的

ワイエム証券 営業収益構成



昨年度ロスカットを実施したことにより評価損の拡大を回避

有価証券ポートフォリオ再構築
（2021年度第4四半期実施）に係る試算

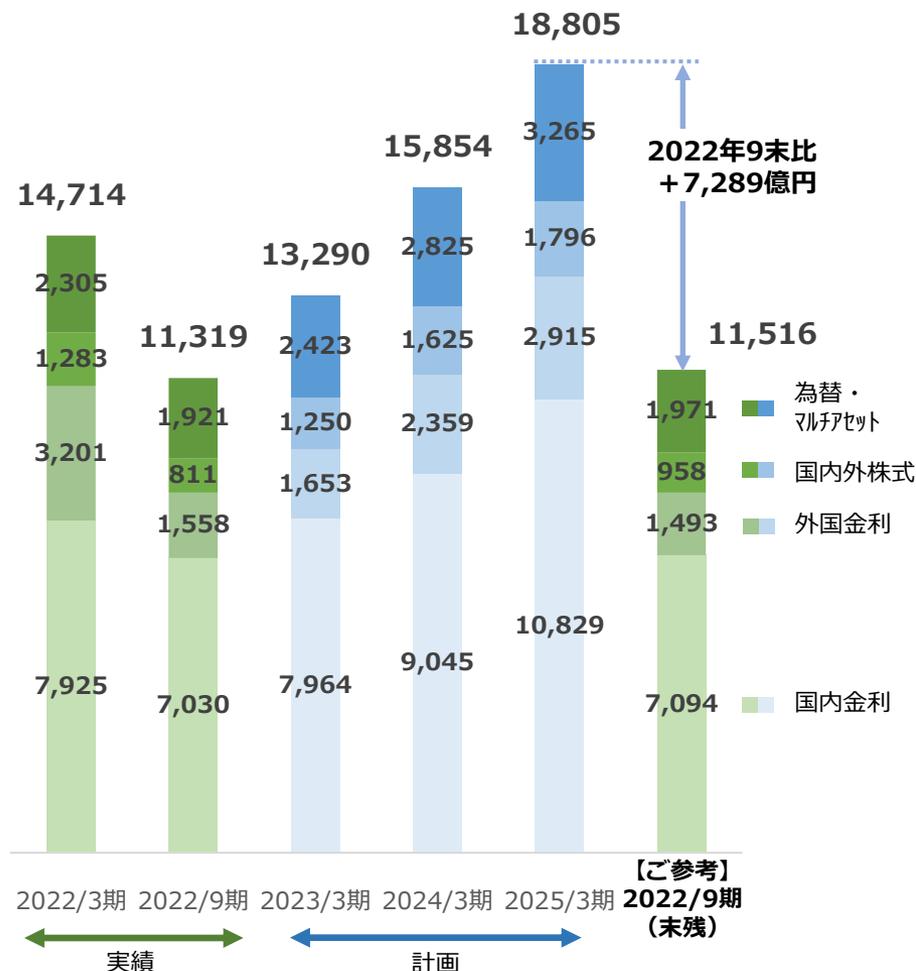
(単位：億円)	2021年度4Q	
	売却額	売却損(①)
外債	2,750	▲142
株式投信	1,100	▲111
合計	3,850	▲253

昨年度ロスカットせず、
そのまま保有し続けていた場合を試算

(単位：億円)	2022/9末	売却効果 (①-②)
	評価損益(②)	
外債	▲497	+355
株式投信	▲169	+58
合計	▲666	+413

純投資運用平残

(単位：億円)

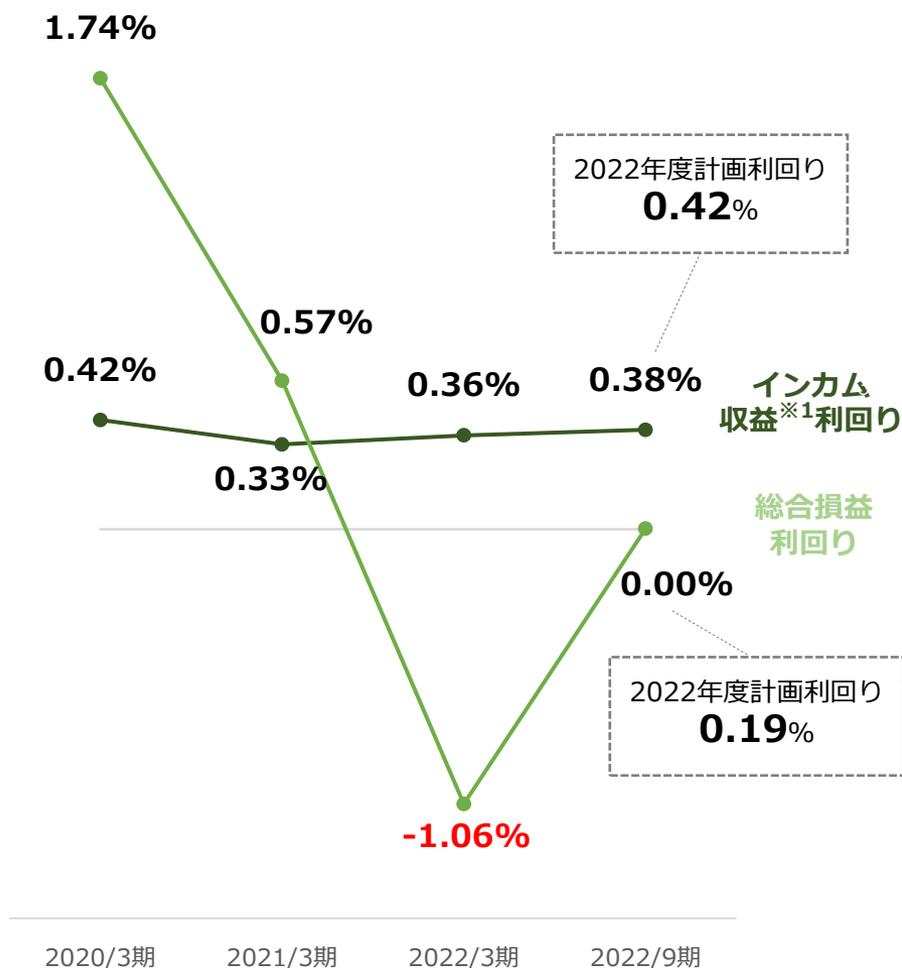


※リスクカテゴリー別運用残高（デリバティブ等含む内部管理ベース）
Copyright(C) 2022 Yamaguchi Financial Group, Inc. All Rights Reserved.

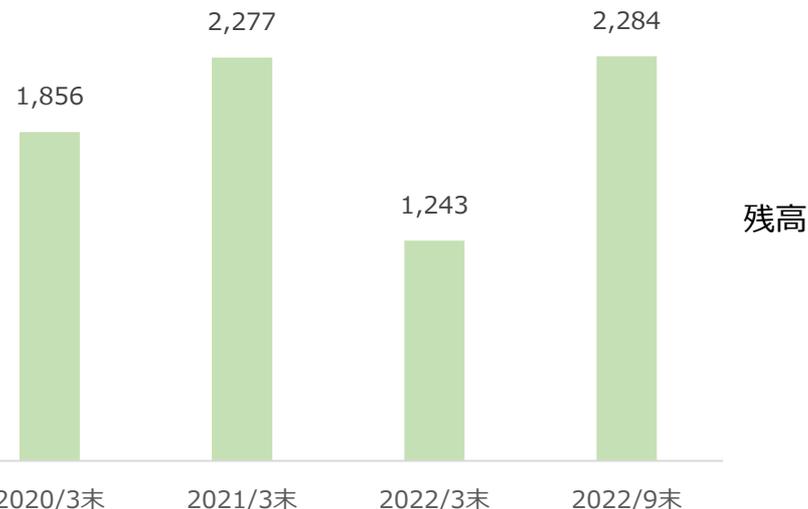
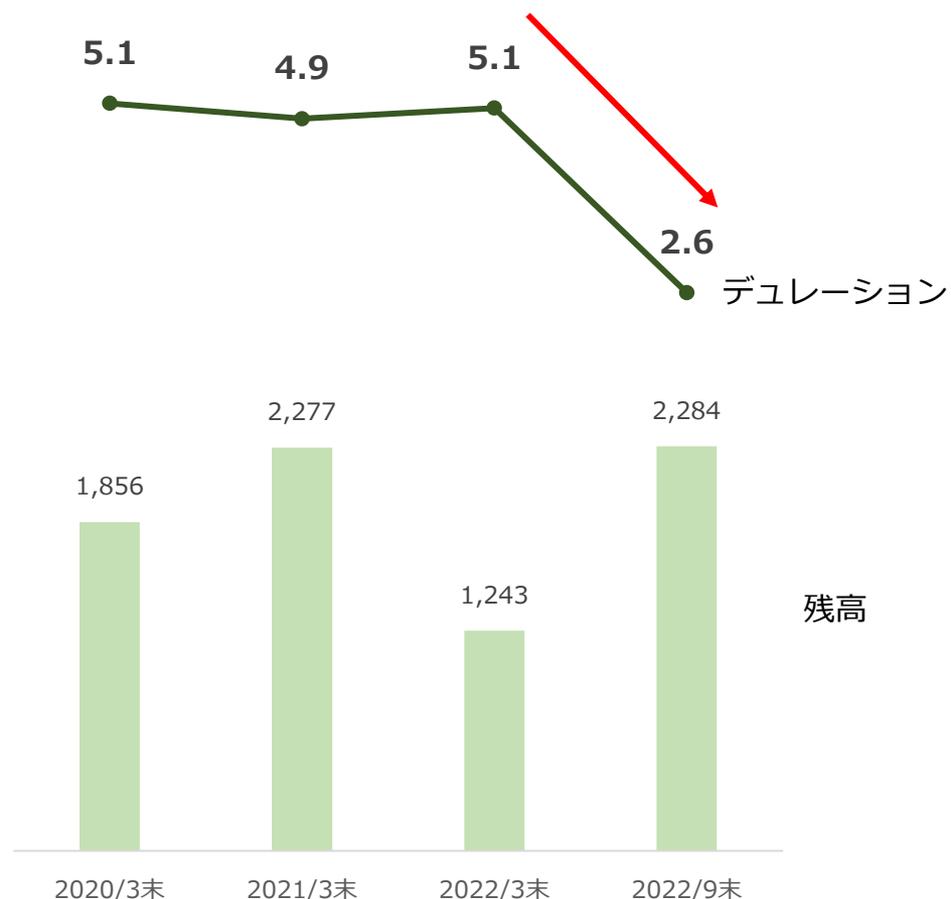
コア事業領域－有価証券運用事業（純投資）

インカム収益利回りは前期比プラス
外債においてはデュレーションを短期化

有価証券運用事業（純投資）利回り



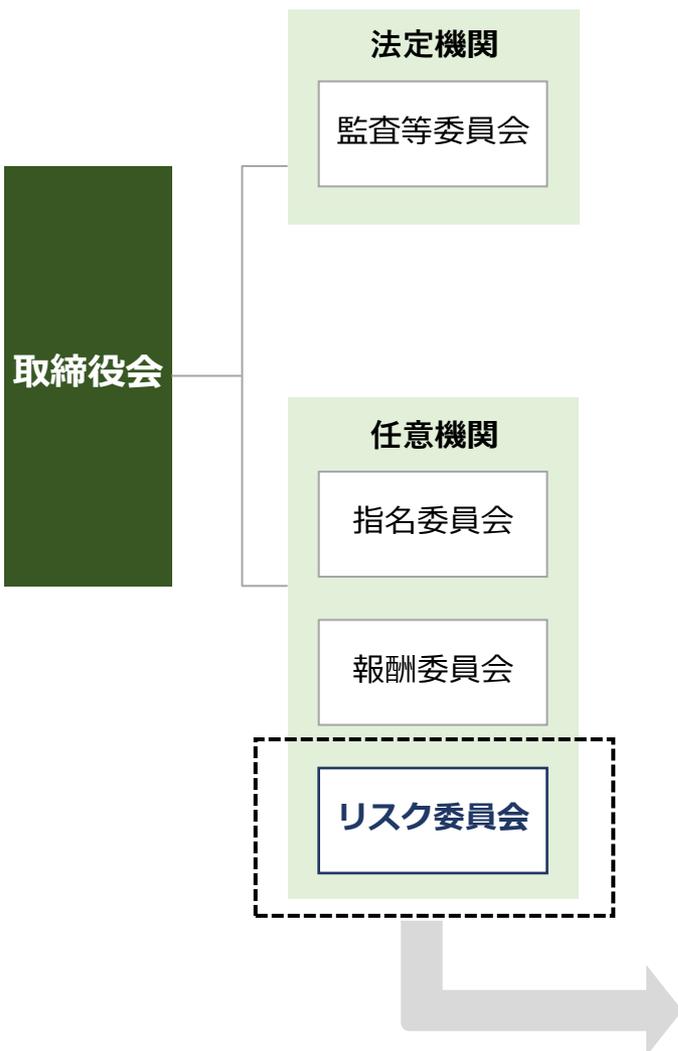
外国債券デュレーション※2 (単位：億円、年)



※1 国内外債券利息（ヘッジ考慮後）+ 投信配当 + 調達コスト（▲）

※2 3行合算ベース、ヘッジ考慮後

リスク委員会の客観的な意見を有価証券ポートフォリオ構築に反映



概要

- ✓ 取締役会における任意の諮問機関として、リスクマネジメント/管理に対する**監督機能強化**を目的に、2022年7月に新設
- ✓ まずは対応が急務である**市場部門に関する事項に絞って**運営（審議）を開始

メンバー構成

■ 荒谷 雅夫 山口銀行社外取締役

(主な略歴) 明治安田生命保険相互会社
取締役 代表執行役副社長 資産運用管掌執行役 (現任)

■ 神田 一成 山口銀行取締役会長

(主な略歴) 山口銀行 市場営業部長

■ 永沢 裕美子 山口フィナンシャルグループ社外取締役

(主な略歴) フォスター・フォーラム (良質な金融商品を育てる会) 世話人 (現任)

■ 廣中 享二

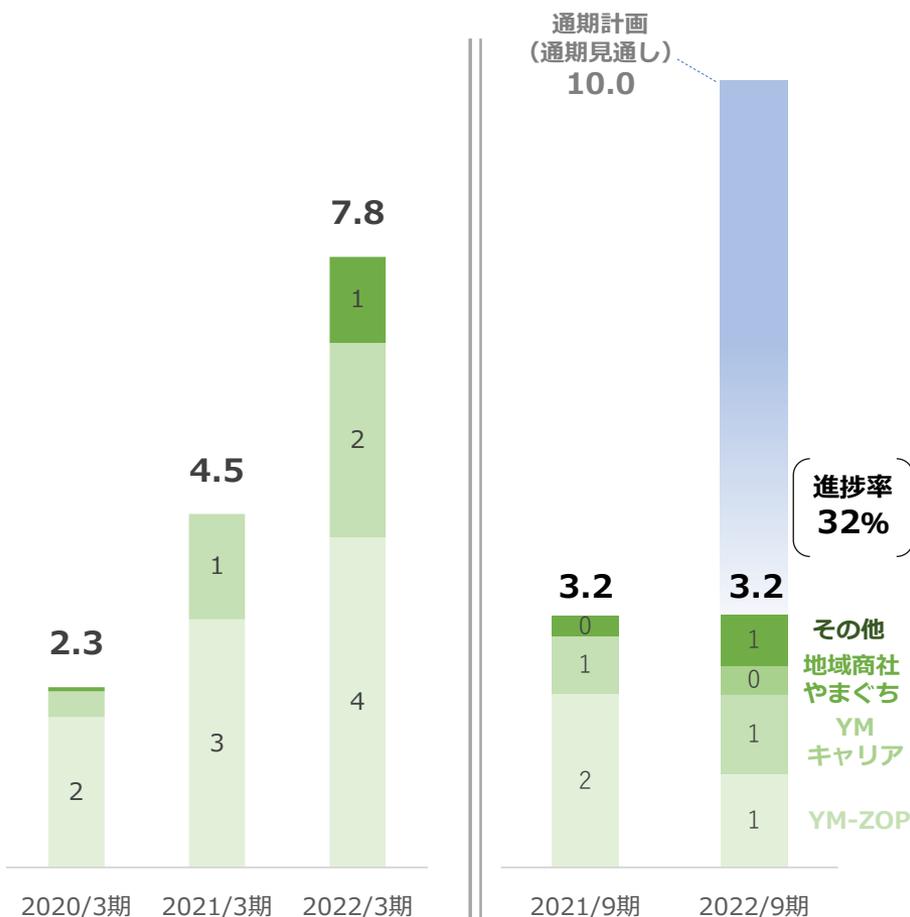
(主な略歴) 三菱東京UFJ銀行 執行役員 投資運用部長

新事業領域

SIBを起点とした官民連携は着実に進捗、人材紹介事業も堅調に推移

新事業領域粗利益

(単位：億円)



SIB (ソーシャル・インパクト・ボンド) 推進

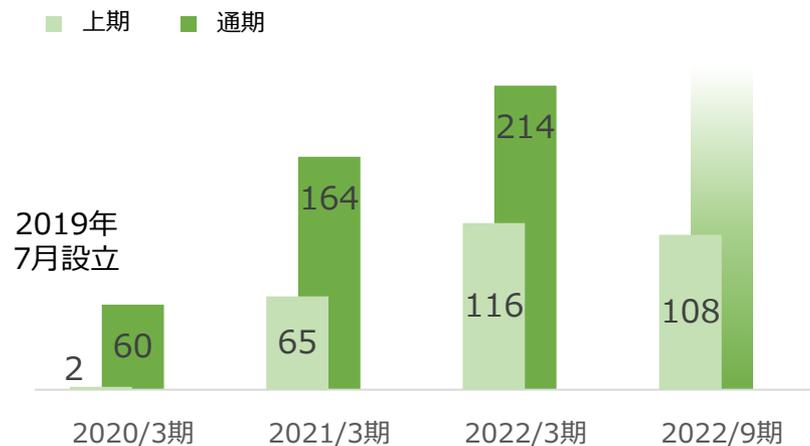
- SIB推進に向けたファンド出資
 - ✓ 日本最大のSIBファンド (ファンド規模42億円) と出資契約締結
- 山口・広島・北九州地域「SIB研究会」設立
 - ✓ 当社グループが中心となり、地域におけるSIB活用を促進

【SIB研究会構成員 ※10月31日時点】

山口県	6自治体
広島県	2自治体
北九州地域	2自治体

YMキャリア 人材紹介成約実績

(単位：件)



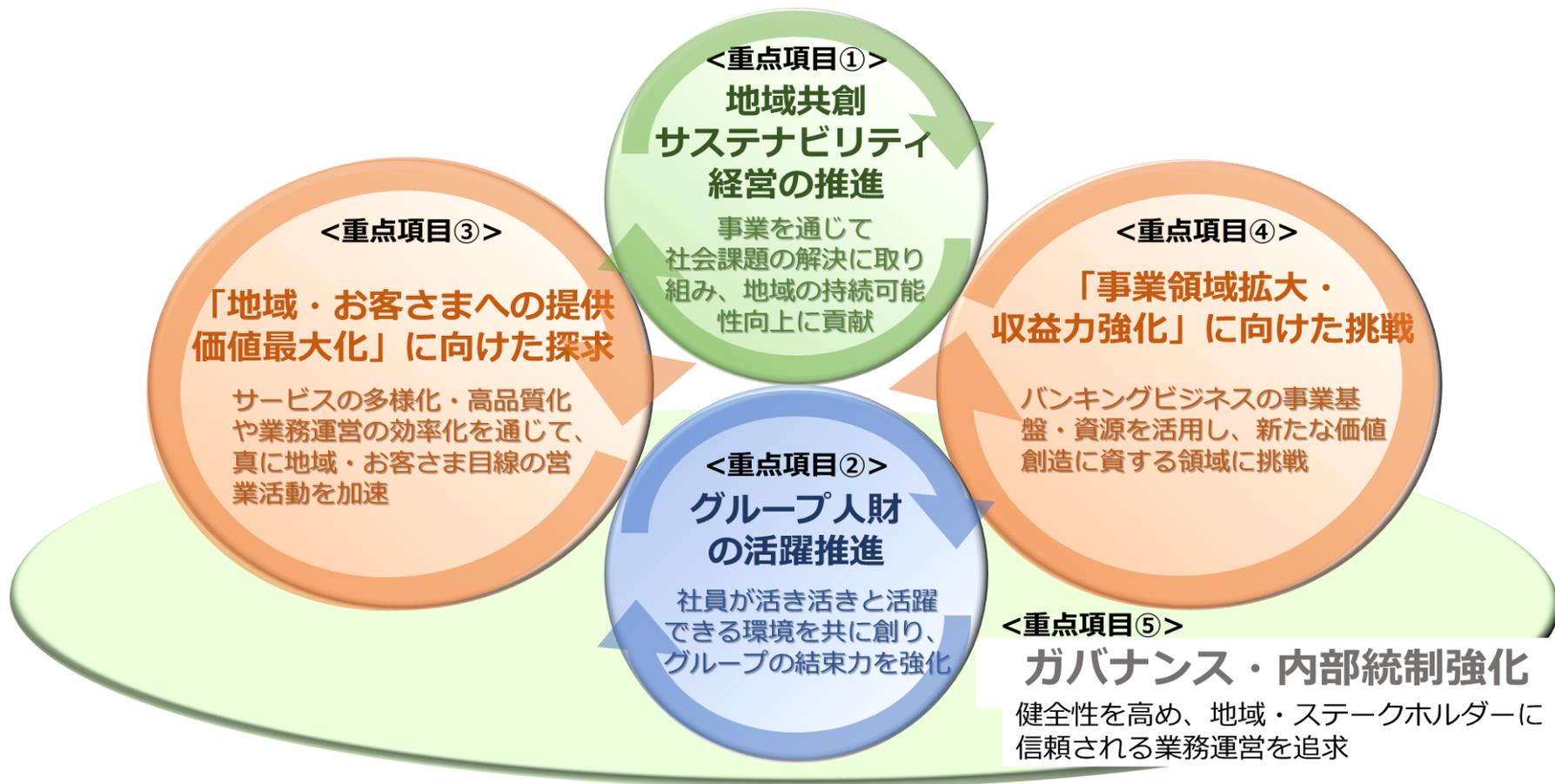
中期経営計画初年度進捗・通期見通し－事業別

法人事業、与信費用等が計画比上回り、経常利益ベースでの進捗率は67%
 経常利益250億円、当期純利益170億円の業績予想は変更しない

	2021年度 中間期 (億円)	2022年度 中間期	2022年度		2022年度 通期計画	2022年度 通期見通し
			前年同期比	進捗率		
粗利益等	510	478	▲ 33	53%	901	898
コア事業領域	449	415	▲ 34	53%	788	778
法人事業	265	287	+22	54%	530	543
リテール事業	115	108	▲ 7	46%	232	222
有価証券運用事業	70	22	▲ 48	102%	21	9
うち純投資運用	57	0	▲ 57	2%	25	0
うち政策投資株式関連収益等	13	21	+9	-	▲4	8
投資事業	▲1	▲2	▲ 1	-	4	4
新事業領域	3	3	+0	32%	10	10
与信費用 (▲)	41	3	▲ 38	13%	29	27
営業経費 (▲)	307	307	+0	49%	621	621
経費 (臨時処理分除く) (▲)	325	308	▲ 17	50%	623	622
経常利益	161	166	+5	67%	250	250
親会社株主に帰属する当期純利益	121	122	+1	72%	170	170

Ⅲ. 中期経営計画2022 5つの重点項目に基づく 主な取り組み

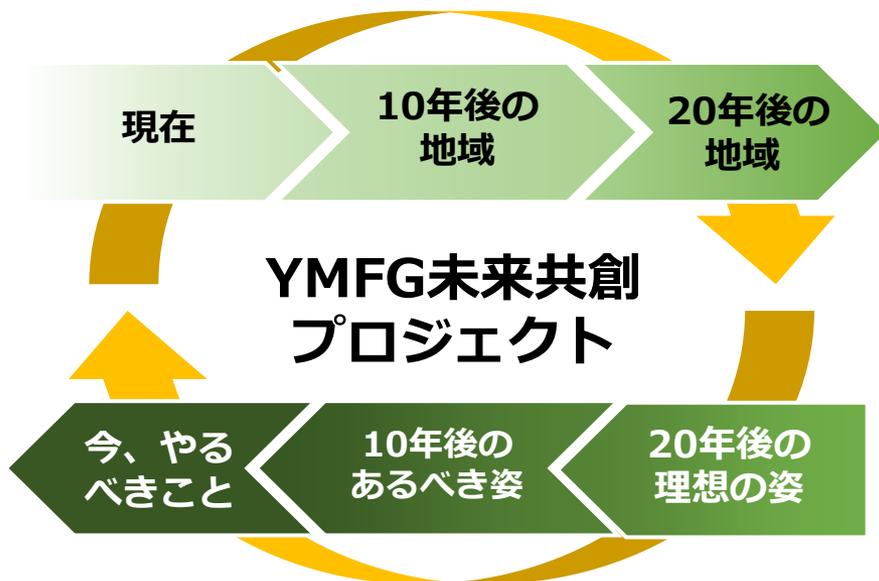
ステークホルダーの信頼のもと、地域共創サステナビリティ経営・グループ人財の活躍を成長に向けた原動力・推進力として、地域・お客さま本位で考動する



中期経営計画2022重点項目① 地域共創サステナビリティ経営の推進

YMFG未来共創プロジェクト

- ✓ 20代～40代の若手～中堅社員を集め、プロジェクトチーム組成
- ✓ 10年後の地域の未来、20年後の地域の未来を考え、想定される地域の課題に対してYMFGがどう貢献できるか、それを実現するために、今、なにをすべきかを検討し、次期中期経営計画策定に繋げていく



カーボンニュートラル実現への取り組み

- ✓ YMFG ZONEプランニングが、地方自治体・中核企業等との連携により、カーボンニュートラルに向けた地域の環境と経済、社会の好循環構造を促進

主な取組内容

- 大崎上島町ゼロカーボン推進計画会議への参画
- 徳山下松港カーボンニュートラルレポート検討会への参画
- 山口大学グリーン社会推進研究会への参画

SDGs 経営立ち上げ支援サービス

- ✓ 本サービスでは、お客様のSDGs取組み状況の診断と今後の課題抽出から、SDGs宣言の策定に向けた支援を実施
- ✓ SDGs宣言策定をフックとし、地域企業のSDGs/ESGに関する取り組みを促進

2022年度上期実績

296件

累計実績※

433件

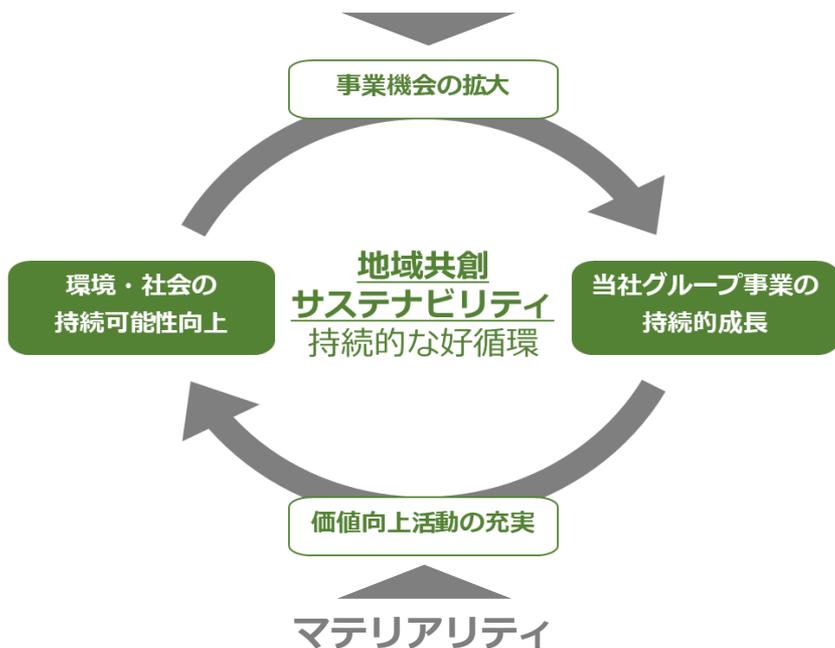
※サービス取扱開始（2022年1月）からの累計実績

中期経営計画2022重点項目① 地域共創サステナビリティ経営の推進

サステナビリティ推進委員会の設立

- ✓ サステナビリティ推進委員会を設置し、グループ全体での取り組みを加速

グループサステナビリティ方針



 地域社会・経済活性化への取り組み

 環境保全への取り組み

 役職員全員の動きがいへの取り組み

 強固な経営基盤づくりへの取り組み

TCFD提言への賛同と情報開示

- ✓ 2021年12月にTCFD提言に賛同し、TCFD提言にもとづいた情報開示を実施



CO₂排出量削減目標の策定

- ✓ 新たなサステナビリティ目標として、当社グループにおけるCO₂排出量削減目標を設定

2030年度までにCO₂排出量※ネットゼロ

※対象はScope 1、2

サステナブルファイナンス

- ✓ サステナブルファイナンスの実行額は着実に伸長【サステナブルファイナンス累計実行額※】（単位：億円）

2022年度 上期実績	2024年度目標 ※中計期間累計実行額	2031年度目標 ※2022~2031年度累計実行額
1,198 (790)	4,000 (1,350)	15,000 (5,000)

※（）の数字は、サステナブルファイナンス実行額のうち、環境分野・気候変動対応に資するもの

中期経営計画2022重点項目① 地域共創サステナビリティ経営の推進

多様な人財の活躍推進

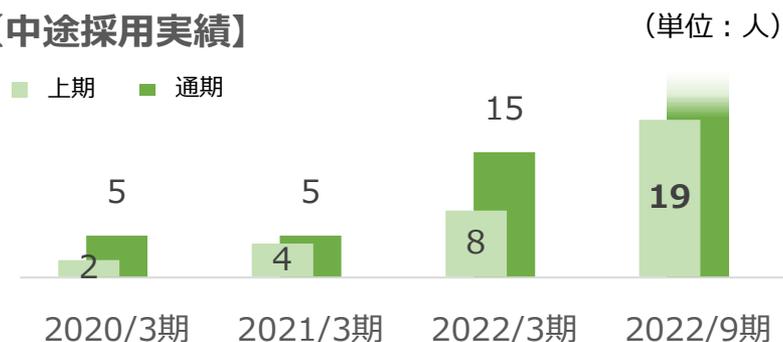
- ✓ 企業価値向上のため、非金融領域も含め多様なバックグラウンドを持つ人材の採用を進める

【多様性人財※管理職割合】

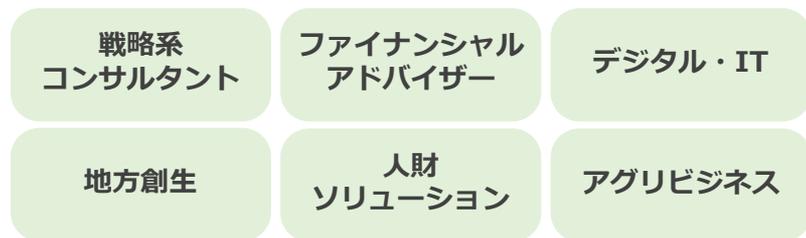
実績	長期目標
5.8%	25%以上
<2022年9月末時点>	<2031年12月末時点>

※ 女性・外国人・中途採用者・アルムナイ（当社を退職した元社員）・副業従事者・外部出向経験者

【中途採用実績】



<採用領域一例>



女性活躍推進

- ✓ 女性管理職候補のプールを増やし、長期継続的に女性管理職比率を向上させていく

【女性管理職割合】

実績	長期目標
3.0%	15%以上
<2022年9月末時点>	<2031年12月末時点>

【リーダー層への女性登用率※】

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 上期
16.3%	11.3%	16.7%	44.4%

※リーダー層への女性登用率=女性登用者（係長以上）/登用者数（係長以上）

中期経営計画2022重点項目② グループ人財の活躍推進

人財育成への投資

- ✓ 中期経営計画で掲げる戦略の実行に向けた人財育成への投資を2021年度比で2倍に
- ✓ 2022年度、全研修カリキュラムの約60%を、新設カリキュラムとして設定
- ✓ 計画期間中、内外環境の変化を捉え、PDCAを回しながらアップデートし、社員の成長機会を創出

新設カリキュラム(抜粋)

- 事業性評価×ESG研修
- 1on1コーチングスキル研修
- 女性社員リーダーシップ研修
- 企業診断力分野別講座
- オンボーディング研修
- アンコンシャスバイアス研修等

2021年度

2022年度
2023年度
2024年度

YMFG Growth（社内新規事業提案制度）

- ✓ 「創造性豊かな社員の育成」と「新たな価値を創造し続ける組織風土の醸成」を目的とする社内新規事業提案制度を2021年6月からスタート

2022年度(2年目)

- ✓ 応募総数71件(参加者133名)の中から、5件が一次審査通過
- ✓ 一次審査通過案件は、最終審査に向け、外部メンターによる伴走支援のもと、案件をブラッシュアップ

昨年度に比べ、女性参加比率の上昇（19.7⇒30.8%）や再チャレンジ案件（昨年ブラッシュアップ案件）の一次審査通過など、YMFG Growthへのチャレンジを通じてスキル・マインドが向上し、着実に組織風土が変化

昨年度グランプリ（Award）案件

- ✓ 実証フェーズ（仮説検証）から事業化フェーズのステップへ進捗
- ✓ 事業化フェーズでは、サービスに必要な最低限の機能を設計
- ✓ 協力企業の反応を分析することで、サービスの実現可能性を検証し、今後事業化の可否を判断

投資を通じた地域価値向上への取り組み



【山口キャピタル株式会社】

- ✓ 1996年4月設立の投資専門会社
- ✓ 2022年8月株式100%取得により完全子会社化

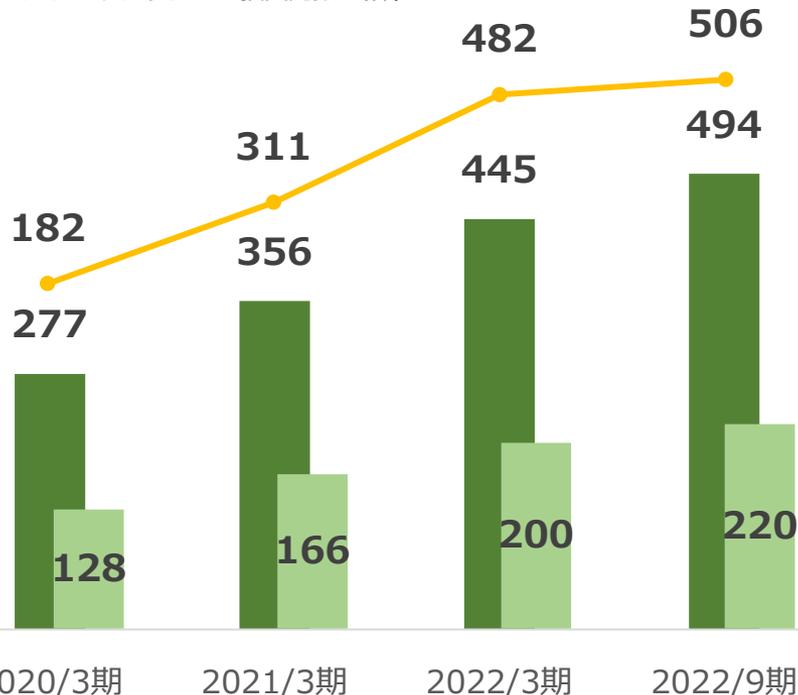
【YMFGによる投資実績※】

(単位：億円)

※山口キャピタルを含む、山口フィナンシャルグループ全体での投資実績

■ ファンド出資約束総額 ■ うちスタートアップへの出資約束総額

● スタートアップへの投資先数 (件)



承継課題：Searchファンド

- ✓サーチファンドとは、経営者を志す人材（サーチャー）と後継者不在企業とのマッチングを図り、承継課題の解決を目指す取り組み。日本国内での取り組みはYMFGが初
- ✓2019年2月の1号ファンド設立以降、6社の事業承継が実現
- ✓2022年2月に全国の地域金融機関等から出資を受け、2号ファンドを設立

都市部の
経営者を志す人材
(サーチャー)



地方の
後継者不在企業



承継課題：Elixirファンド

- ✓地域の経済活力や雇用について大きな役割を果たす中小企業等の事業承継・事業成長支援に取り組むファンド
- ✓株式集約等による事業承継支援や、人財派遣によるハンズオン支援での事業成長支援を実施

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2022/9期
累計投資件数	1件	4件	7件	8件
累計投資金額	0.4億円	2.2億円	16.5億円	17.9億円

山陽小野田市LABVプロジェクト

- ✓ LABV※を用い、山口県山陽小野田市において、商工センター再整備や銀行店舗の跡地利活用など、複数の市有地を連鎖的に開発する街づくりプロジェクト
- ✓ 事業パートナーも選定し、全国初のプロジェクトとして進行

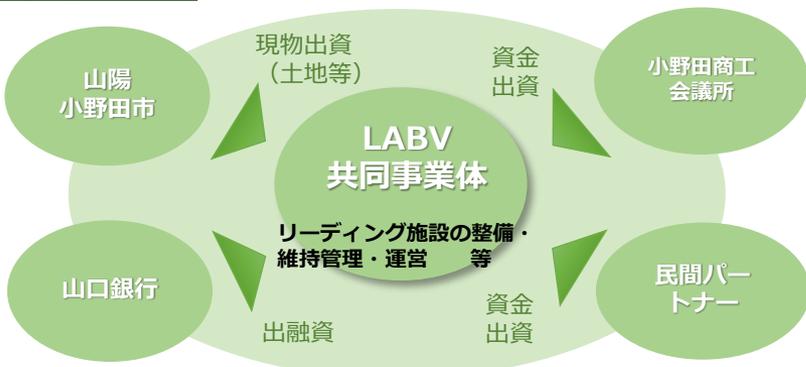
<地域の課題>



<地域実証・地域デザイン>



<事業創出>



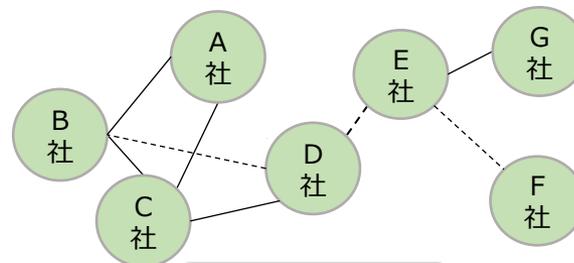
※LABV：自治体が保有する土地の現物出資と民間事業者等からの資金出資を合わせて組成されるLABV共同事業体が実施する官民連携による手法

東京大学との共同研究

- ✓ 東京大学とAIを活用し「隠れた企業価値」を発見する共同研究を実施中
- ✓ 企業成長に繋がる新たな取引先とのマッチング支援等へのビジネス転用を目指していく

■ 当社グループ取引先の事業性入出金データを提供

■ 取引先の企業間ネットワークを可視化



<期待する効果>

- 新たな企業評価軸の観点→ 隠れた企業価値を発掘
- 企業成長の観点→ 企業成長に繋がる企業間取引予想
- リスク管理の観点→ サプライチェーンの強み・弱みを予測

<ビジネス転用>

- 隠れた企業価値を保有する地域ハブ企業へのコンサルティング提案
- 現在の取引先の代替となる新規取引先の提案
- 企業成長に繋がる新たな取引先とのマッチング支援

中期経営計画2022重点項目⑤ ガバナンス・内部統制強化

区分	社内取締役					区分	社外取締役					
												
氏名	むかし けいすけ 椋梨 敬介	そが なるまさ 曾我 徳将	おだ こうじ 小田 宏史	かとう みつる 嘉藤 晃玉	ふくだ すずむ 福田 進	氏名	ながさわ ゆみこ 永沢 裕美子	すえまつ みなこ 末松 弥奈子	やまもと たかひろ 山本 謙	みま ともこ 三上 智子	つくだ かずお 佃 和夫	くにまさ みちあき 国政 道明
地位	代表取締役社長	取締役 (山口銀行頭取)	取締役 (もみじ銀行頭取)	取締役 (北九州銀行頭取)	取締役 監査等委員 (常勤)	地位	取締役 (独立役員)	取締役 (独立役員)	取締役 (独立役員)	取締役 (独立役員)	取締役 監査等委員 (非常勤)	取締役 監査等委員 (非常勤)
コーポレートガバナンス	○	○	○	○	○	コーポレートガバナンス	○	○	○	○	○	○
経営戦略	○					サステナビリティ	○		○			
営業戦略／地方創生	○	○	○	○		地域経済／行政		○	○	○		
市場運用		○			○	マクロ経済					○	
人材開発			○	○		金融	○					
DX／システム						DX		○		○		
コンプライアンス／リスク管理					○	企業法務						○



✓ 上記スキル・マトリックスは、各氏の有する全ての知見・経験を表すものではなく、各氏の経験等を踏まえて特に専門性を発揮することが期待される分野について3つを上限に記載

✓ 「特に期待する分野」の項目選定について

- ・ 社内取締役の項目については、**中期経営計画2022の重点施策に基づき選定**
- ・ 社外取締役の項目については、多様な知見、専門性を重視して選定

参考資料

グループ会社一覧

コア事業領域

銀行業務

 **山口銀行** 国内 130拠点
海外 4拠点

 **もみじ銀行** 国内 104拠点

 **北九州銀行** 国内 37拠点

証券業務

 **ワイエム証券**

投資助言・代理業務

 **株式会社ワイエムライフプランニング**

保険代理・銀行代理業務

 **山口フィナンシャルグループ
保険ひろば**

クレジットカード業務

 **井筒屋ウィズカード**

ワイエムセゾン株式会社

株式会社やまぎんカード

もみじカード株式会社

投資運用業務

ワイエムアセットマネジメント株式会社

各種コンサルティング業務

ワイエムコンサルティング株式会社

投資ファンド運営業務

 **YAMAGUCHI
CAPITAL**
山口キャピタル株式会社

リース業務

ワイエムリース株式会社

信用保証業務

株式会社ワイエム保証

債権管理回収業務

 **にしせと
サービサー**
Nishiseito Regional CO-creation Service Inc.

にしせと地域共創債権回収株式会社

シップファイナンス業務高度化支援

 **西瀬戸マリンパートナーズ**
NISHISETO MARINE PARTNERS

不動産賃貸業務

三友株式会社

もみじ地所株式会社

新事業領域

地域に関する課題研究・ コンサルティング業務

 **YMGF ZONEプランニング**

福利厚生代行業務

 **株式会社イネサス**
INESUS

クラウドファンディング業務

 **ふるさとをみたく
KAIKA**
株式会社KAIKA

DXコンサルティング業務

 **株式会社データ・キュービック**
Data Quic

有料職業紹介事業

 **株式会社YMキャリア**
YM CAREER

地域製品の卸売・小売業務

 **地域商社やまぐち株式会社**

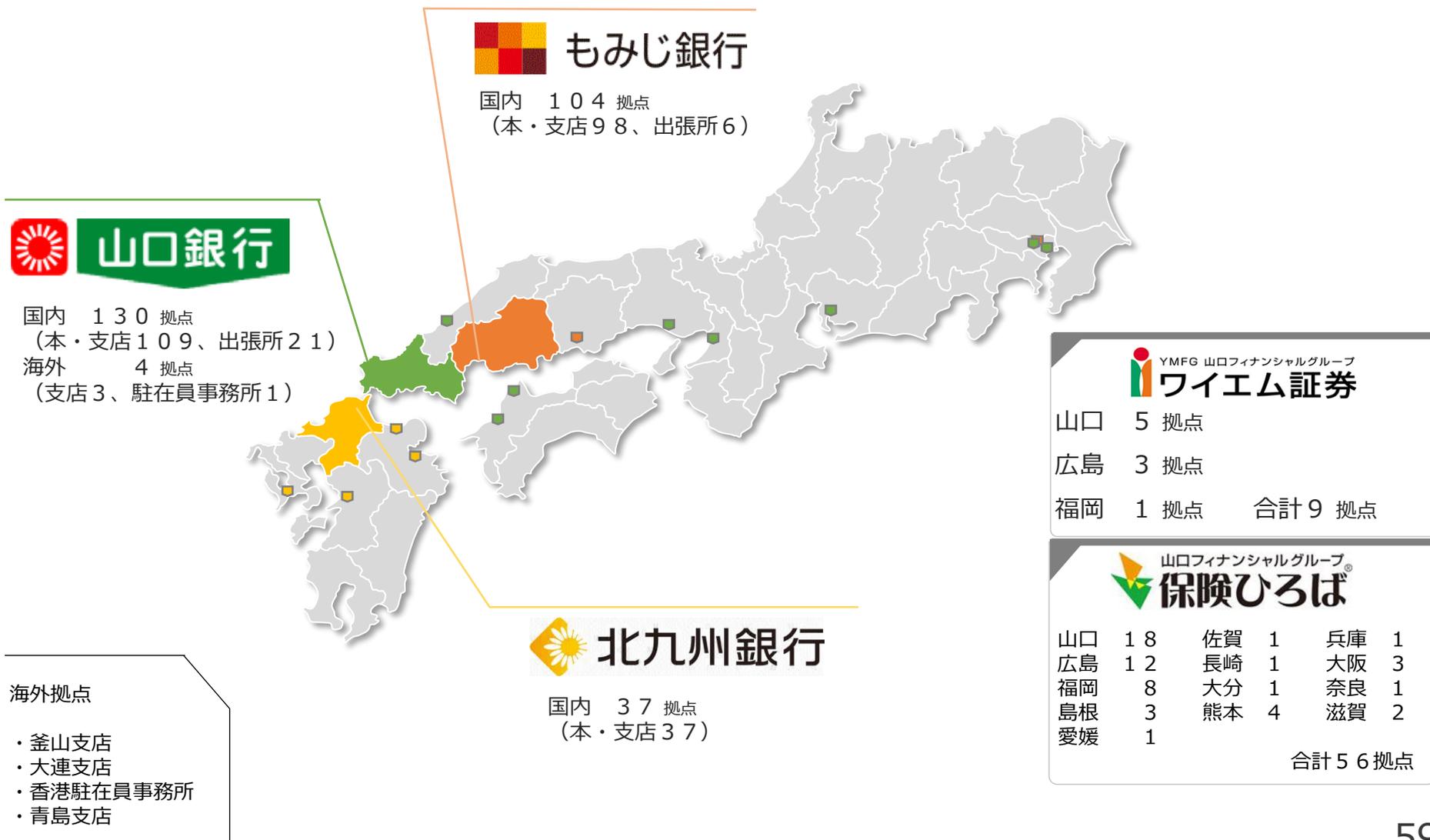
農業経営に関する業務

 **株式会社バンカーズファーム**
Bankers Farm Inc.

店舗ネットワーク

- ▶ グループ3銀行で国内271拠点、海外4拠点
- ▶ ワイエム証券9拠点、保険ひろば56拠点

(2022年9月末現在)



成長の基盤となる恵まれたマーケット

● 主要エリア人口
500万人超

● 主要エリアGDP
約21兆8千億円

山口県

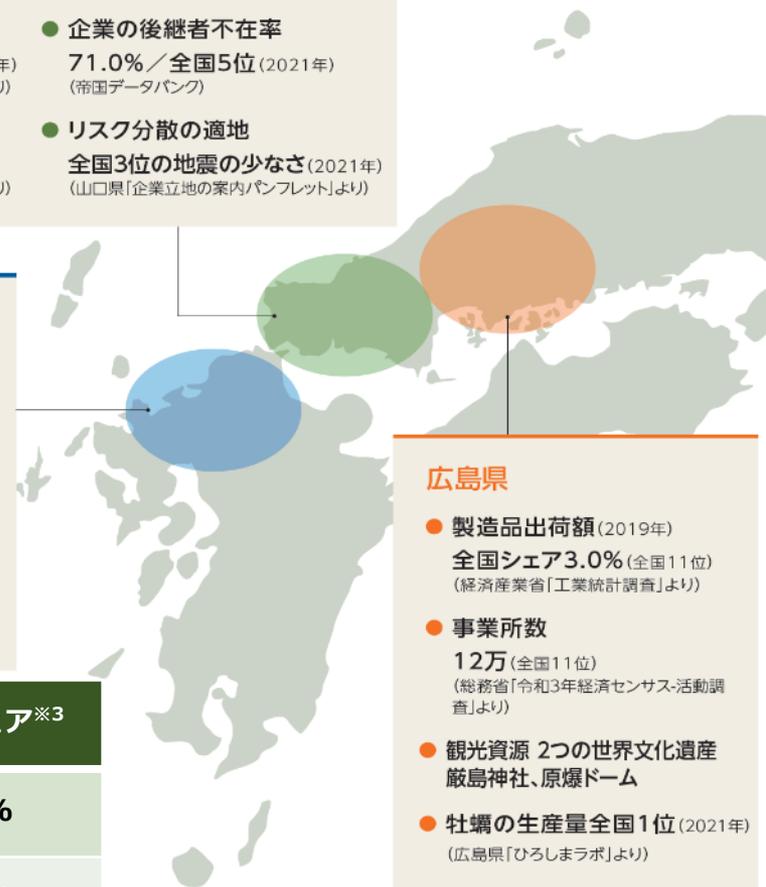
- 充実した産業集積
原薬出荷額は全国1位(2020年)
(山口県「企業立地の案内パンフレット」より)
- 企業の後継者不在率
71.0% / 全国5位(2021年)
(帝国データバンク)
- 工業用水の安定供給
全国1位の給水能力(2021年)
(山口県「企業立地の案内パンフレット」より)
- リスク分散の適地
全国3位の地震の少なさ(2021年)
(山口県「企業立地の案内パンフレット」より)

北部九州(北九州市)

- 子育てのしやすい街
(政令指定都市部門)
11年連続1位
(NPO法人エガリテ大手前調べ)
- 2018年にアジアで唯一
「SDGs推進に向けた
世界のモデル都市」に選出
- 陸・海・空の充実した
交通インフラ

広島県

- 製造品出荷額(2019年)
全国シェア3.0%(全国11位)
(経済産業省「工業統計調査」より)
- 事業所数
12万(全国11位)
(総務省「令和3年経済センサス-活動調査」より)
- 観光資源 2つの世界文化遺産
厳島神社、原爆ドーム
- 牡蠣の生産量全国1位(2021年)
(広島県「ひろしまラボ」より)



エリア	人口※1	県内総生産※2 (GDP)	貸出金シェア※3	預金シェア※3
山口県	134万人	6兆3,746億円	42%	46%
広島県	280万人	11兆7,137億円	22%	22%
北部九州 (北九州市)	94万人	3兆7,486億円	14%	10%

※1：総務省「国勢調査2020年度」※2：内閣府「県民経済計算2018年度(名目ベース)」※3：手形交換所の交換計数を基に作成(2022年9月)

地区別経済概況

	北九州市 ～生産や個人消費で好調な動きがみられるなど、全体では緩やかに回復している～	山口県 ～個人消費で復調の兆しがみられるなど、全体では持ち直しつつある～	広島県 ～供給制約の影響緩和が、生産や輸出へプラスに作用し、全体では緩やかに持ち直している～
生 産	供給制約の影響が和らぐ中、自動車等の生産が好調となるなど、全体でも緩やかに回復している	化学の生産指数が100超を維持しているほか、汎用機械などで上昇し、全体では堅調に推移している	供給制約の影響が和らぐ中、自動車を持ち直しているほか、はん用・生産用・業務用機械も上昇するなど、全体では持ち直している
設備投資	2022年度の設備投資計画額（日銀北九州支店調べ）は、非製造業の投資計画額が増加した一方で、製造業では減少し、全体では前年度比7.3%減少と2年ぶりに前年度を下回る計画となっている	2022年度の設備投資計画額（日銀下関支店調べ）は、非製造業の投資計画額が減少見込みの一方、製造業で増加し、全体では前年度比5.8%増加と前年度を上回る計画となっている	2022年度の設備投資額（日銀広島支店調べ）は、製造業と非製造業の投資計画額がいずれも増加し、全体でも前年度比12.7%増加と2年連続で前年度を上回る計画となっている
輸 出	7-9月期の輸出額は前年比48.6%増加と2四半期連続で前年を上回り、持ち直しの動きとなっている	7-9月期の輸出額は前年比35.1%増加と8四半期連続で前年を上回り、防府港の自動車などの増加幅が大きくなっている	7-9月期の輸出額は、供給制約の影響が和らぐ中で自動車関連の増加幅が大きく、前年比42.1%増加と持ち直している
個人消費	新型コロナウイルス感染症や物価上昇の影響を受けつつも、全体では緩やかに回復している	行動制限のない夏休みで外出や旅行に伴う需要が高まったことなどもあり、百貨店・スーパー販売額が2ヶ月連続で前年を上回るなど、全体では復調の兆しがみられる	百貨店・コンビニエンスストア売上高が持ち直し基調となるほか、行動制限のない夏休みなどもあり旅行取扱額等も増加傾向にあり、全体でも持ち直しつつある
公共工事	7-9月期の公共工事請負金額は、前年比10.0%減少と三四半期連続で前年を下回り、弱めの動きとなっている	7-9月期の公共工事請負金額は、国や県からの発注が減少するなど、全体でも前年比10.6%減少している	7-9月期の公共工事請負金額は、前年比11.1%増加し、高水準で推移している
住宅建築	7-9月期の新設住宅着工戸数は、前年比40.2%増加と2四半期連続で前年を上回り、持ち直しの動きがみられる	7-9月期の新設住宅着工戸数は、持家が前年割れの方で、貸家、分譲が前年を上回り、前年比2.1%増加と2四半期連続で前年を上回っている	7-9月期の新設住宅着工戸数は、貸家や分譲を中心に持ち直しの動きがみられたこともあり、全体では前年並みと堅調に推移している
雇用情勢	7-9月期の有効求人倍率が1.14倍と上昇傾向となっており、全体でも持ち直しの動きがみられる	7-9月期の有効求人倍率が1.57倍と求人数の回復などから上昇傾向となっており、全体でも持ち直しの動きが継続している	7-9月期の有効求人倍率は1.60倍と上昇傾向となるなど、全体では緩やかに改善している
企業倒産	2022年度累計（4-9月期）の企業倒産は、件数、負債総額がいずれも前年を上回る水準となった	2022年度累計（4-9月期）の企業倒産は、件数が上半期では4年ぶりに増加した一方で、負債総額は3年連続で前年を下回る水準となった	2022年度累計（4-9月期）の企業倒産は、件数が上半期では2年連続で減少した一方で、負債総額は4年ぶりに200億円を上回る水準となった

地区別経済概況

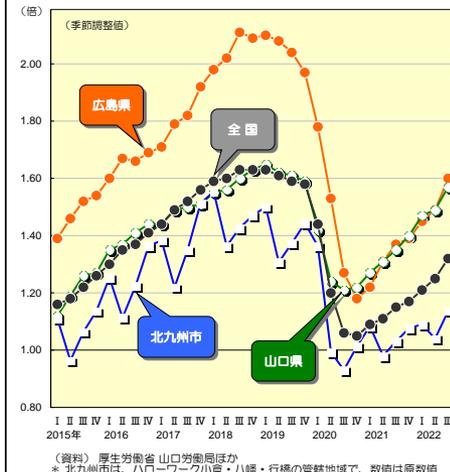
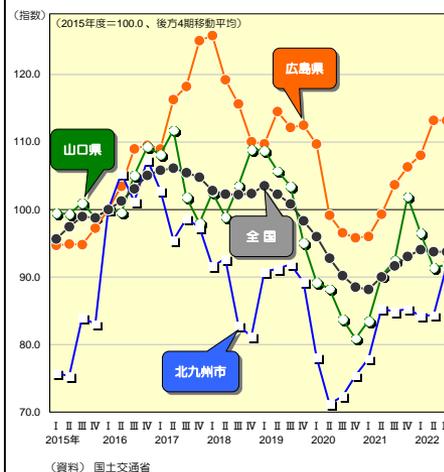
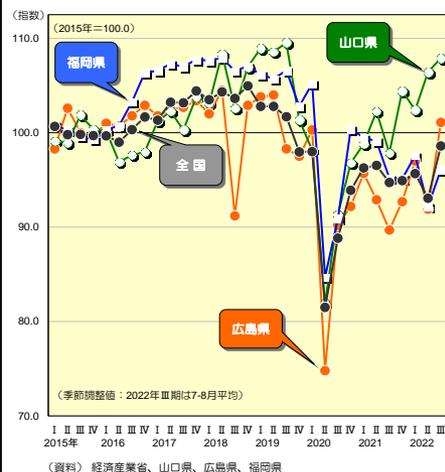
- ◆ 鉱工業生産指数：供給制約の影響が緩和されつつある中、全体では持ち直している
- ◆ 設備投資計画額（2022年度：日銀調べ）：北九州市（前年度比▲7.3%）が前年度を下回る一方で、山口県（同+5.8%）、広島県（同+12.7%）は前年度を上回る計画となっている
- ◆ 住宅着工戸数：山口県は下げ止まりの動きがみられるほか、広島県では堅調に推移し、北九州市は足元で持ち直しの動きがみられる
- ◆ 雇用情勢：有効求人倍率が上昇傾向にあり、雇用全体でも持ち直しの動きが継続している

鉱工業生産指数の推移

設備投資額の推移

新設住宅着工戸数の推移

有効求人倍率の推移



2022年度中間期決算概要（山口銀行）

(単位：百万円)

	2022年度 中間期	前年同期比	2021年度 中間期
経常収益	38,433	585	37,848
業務粗利益	22,973	△ 4,871	27,844
資金利益	26,329	2,052	24,277
(うち投資信託解約損益)	(1,760)	(△ 3,028)	(4,788)
役務取引等利益	3,058	△ 204	3,262
特定取引等利益	0	△ 46	46
その他業務利益	△ 6,415	△ 6,672	257
(うち国債等債券損益)	(△ 5,860)	(△ 5,883)	(23)
(うち金融派生商品損益)	(△ 646)	(△ 348)	(△ 298)
経費（除く臨時処理分）(△)	11,952	△ 657	12,609
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	11,021	△ 4,214	15,235
コア業務純益	16,881	1,670	15,211
(除く投資信託解約損益)	(15,121)	(4,699)	(10,422)
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	△ 1,095	1,095
業務純益	11,021	△ 3,118	14,139
(金銭の信託運用見合費用) (△)	(1)	(△ 2)	(3)
臨時損益	1,358	851	507
うち株式等関係損益	116	△ 592	708
うち金銭の信託運用損益	△ 334	1,401	△ 1,735
うち不良債権処理額(△) ②	16	△ 24	40
うち貸倒引当金戻入益 ③	1,052	1,052	-
うち償却債権取立益 ④	2	0	2
経常利益	12,377	△ 2,267	14,644
特別損益	△ 32	70	△ 102
税引前中間純利益	12,345	△ 2,196	14,541
法人税等合計(△)	2,945	△ 1,713	4,658
中間純利益	9,399	△ 483	9,882
与信関係費用 (①+②-③-④) (△)	△ 1,038	△ 2,172	1,134

決算概要

- ✓ 貸出金利息が増加したものの、国債等債券損益が減少したことにより、前年同期比増収減益
- ✓ コア業務純益は、貸出金利息の増加等を主因として、前年同期比+16億円

資金利益

(単位：百万円)

山口銀行	2022年度中間期	前年同期比
資金利益	26,329	2,052
預貸金収支	21,109	4,101
貸出金利息	22,140	4,586
預金利息	1,031	485
有価証券利息配当金	5,972	▲ 2,684
投資信託解約損益	1,760	▲ 3,028
その他	▲ 752	635

2022年度中間期決算概要（もみじ銀行）

(単位：百万円)

	2022年度 中間期	前年同期比	2021年度 中間期
経常収益	18,773	△ 1,334	20,107
業務粗利益	12,965	418	12,547
資金利益	12,830	△ 854	13,684
(うち投資信託解約損益)	(842)	(△ 1,298)	(2,140)
役務取引等利益	1,116	43	1,073
その他業務利益	△ 982	1,228	△ 2,210
(うち国債等債券損益)	(△ 1,750)	(531)	(△ 2,281)
(うち金融派生商品損益)	(40)	(71)	(△ 31)
経費（除く臨時処理分）(△)	8,313	△ 375	8,688
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	4,651	793	3,858
コア業務純益	6,401	261	6,140
(除く投資信託解約損益)	(5,559)	(1,560)	(3,999)
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	628	△ 346	974
業務純益	4,023	1,139	2,884
(金銭の信託運用見合費用) (△)	(0)	(0)	(0)
臨時損益	270	750	△ 480
うち株式等関係損益	355	△ 428	783
うち金銭の信託運用損益	48	△ 48	96
うち不良債権処理額(△) ②	178	△ 952	1,130
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-
うち償却債権取立益 ④	-	-	-
経常利益	4,293	1,890	2,403
特別損益	△ 20	△ 4,248	4,228
税引前中間純利益	4,272	△ 2,360	6,632
法人税等合計(△)	147	△ 2,417	2,564
中間純利益	4,124	56	4,068
与信関係費用（①+②-③-④）(△)	806	△ 1,298	2,104

決算概要

- ✓ 貸出金利息の増加や経費、与信関係費用が減少したことにより、前年同期比増収増益
- ✓ コア業務純益は、経費の減少等を主因として、前年同期比+2億円

資金利益

(単位：百万円)

もみじ銀行	2022年度中間期	前年同期比
資金利益	12,830	▲ 854
預貸金収支	10,986	357
貸出金利息	11,134	349
預金利息	148	▲ 9
有価証券利息配当金	2,362	▲ 921
投資信託解約損益	842	▲ 1,298
その他	▲ 518	▲ 290

2022年度中間期決算概要（北九州銀行）

(単位：百万円)

	2022年度	前年同期比	2021年度
	中間期		中間期
経常収益	8,090	848	7,242
業務粗利益	6,834	624	6,210
資金利益	5,990	268	5,722
(うち投資信託解約損益)	(-)	(-)	(-)
役務取引等利益	346	49	297
その他業務利益	497	306	191
(うち国債等債券損益)	(-)	(-)	(-)
(うち金融派生商品損益)	(40)	(46)	(△ 6)
経費(除く臨時処理分)(△)	3,449	△ 82	3,531
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,385	706	2,679
コア業務純益	3,385	706	2,679
(除く投資信託解約損益)	(3,385)	(706)	(2,679)
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	308	△ 244	552
業務純益	3,077	950	2,127
(金銭の信託運用見合費用)(△)	(-)	(-)	(-)
臨時損益	53	13	40
うち株式等関係損益	-	4	△ 4
うち金銭の信託運用損益	-	-	-
うち不良債権処理額(△) ②	142	△ 152	294
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-
うち償却債権取立益 ④	-	-	-
経常利益	3,131	964	2,167
特別損益	△ 45	109	△ 154
税引前中間純利益	3,086	1,073	2,013
法人税等合計(△)	789	309	480
中間純利益	2,296	763	1,533
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	450	△ 396	846

決算概要

- ✓ 貸出金利息やその他業務利益の増加、与信関係費用の減少等を主因として、前年同期比増収増益
- ✓ コア業務純益は、貸出金利息の増加等を主因として、前年同期比+7億円

資金利益

(単位：百万円)

北九州銀行	2022年度中間期	前年同期比
資金利益	5,990	268
預貸金収支	5,869	383
貸出金利息	5,978	377
預金利息	109	▲ 5
有価証券利息配当金	313	82
投資信託解約損益	-	-
その他	▲ 192	▲ 197

債務者ランク遷移

山口銀行

			2022年9月末						その他	
(単位：億円)			正常先	要留意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
2021年 9月末	正常先		35,705	34,778	271	-	0	0	-	654
	要留意先	その他	3,438	559	2,579	25	195	1	1	75
		要管理先	32	-	10	14	7	0	-	0
	破綻懸念先		177	-	6	-	154	11	1	2
	実質破綻先		64	-	-	-	0	24	16	22
	破綻先		81	-	-	-	-	-	31	49

ランクダウン
534億円

ランクアップ
577億円

もみじ銀行

			2022年9月末						その他	
(単位：億円)			正常先	要留意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
2021年 9月末	正常先		15,390	14,838	351	0	1	0	-	198
	要留意先	その他	3,115	292	2,590	10	144	2	0	75
		要管理先	34	-	7	14	11	0	-	0
	破綻懸念先		226	-	1	-	203	10	2	8
	実質破綻先		79	-	-	-	-	24	16	39
	破綻先		45	-	-	-	-	-	11	33

ランクダウン
551億円

ランクアップ
302億円

北九州銀行

			2022年9月末						その他	
(単位：億円)			正常先	要留意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
2021年 9月末	正常先		8,367	7,941	310	2	0	-	-	113
	要留意先	その他	2,506	550	1,766	12	118	2	0	55
		要管理先	22	-	0	11	9	0	-	1
	破綻懸念先		62	-	-	-	48	9	1	1
	実質破綻先		44	-	-	-	-	31	11	1
	破綻先		26	-	-	-	-	-	17	8

ランクダウン
479億円

ランクアップ
551億円

リスク資本配賦

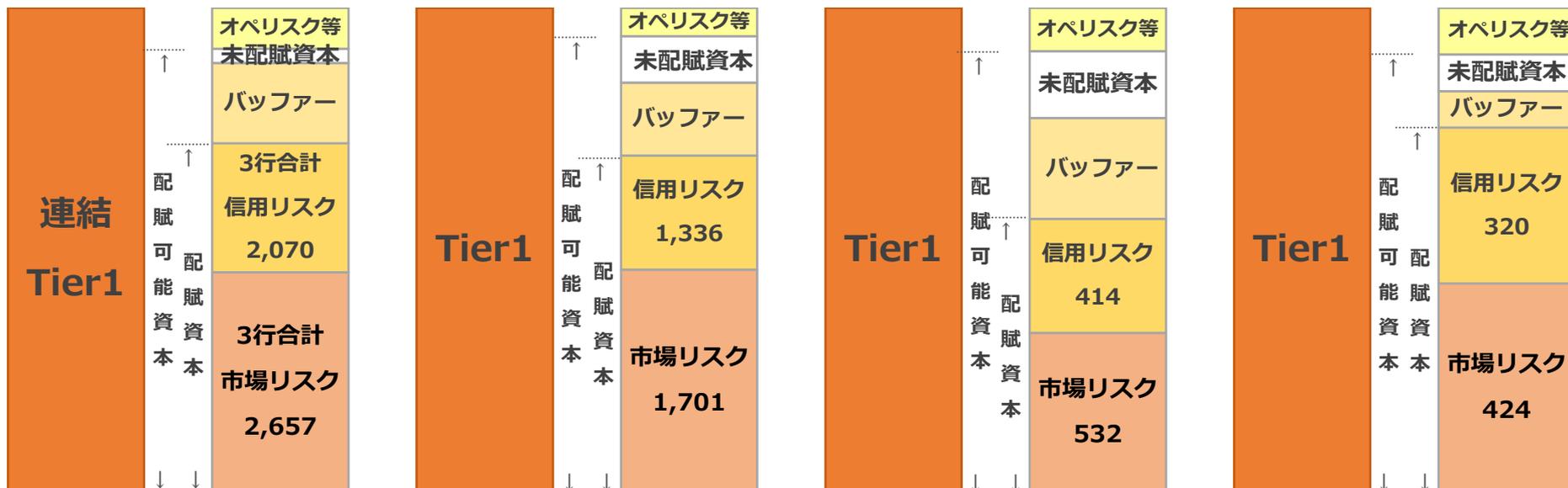
(単位:億円)

山口FG

山口銀行

もみじ銀行

北九州銀行



(単位:億円)

		3行合算	山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行
信用リスク	リスク量(2022/9末)	1,057	614	259	184
	資本配賦額	2,070	1,336	414	320
	使用率		46.0%	62.6%	57.5%
市場リスク	リスク量(2022/9末)	848	419	232	197
	資本配賦額	2,657	1,701	532	424
	使用率		24.6%	43.6%	46.5%

» FG連結Tier1を配賦原資とし、計画に沿って各行へ配賦

- * Tier1 : 普通株式等Tier1+その他Tier1グループ全体を統一的に管理するために、山口FGおよび各行とも国際統一基準に基づきTier1を算出
- * バッファー: 想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

業績推移（1）FG連結・3行合算

FG連結

(億円)

	2018/9 (半期)	2019/3 (通期)	2019/9 (半期)	2020/3 (通期)	2020/9 (半期)	2021/3 (通期)	2021/9 (半期)	2022/3 (通期)	2022/9 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	528	996	455	986	511	1,220	536	1,087	546	10
コア業務純益	167	286	105	292	174	550	210	450	238	28
除く投資信託解約損益	118	212	80	189	106	275	141	328	212	71
経常利益	191	334	184	366	129	369	161	△ 76	166	5
当期利益	130	231	128	253	84	249	121	△ 130	122	1
ROE	3.95%	3.53%	3.89%	3.97%	2.65%	3.84%	3.58%	-	3.95%	0.37%
総資産	103,667	103,041	103,185	106,054	112,047	119,937	121,432	121,826	121,896	464
BIS比率	14.23%	13.62%	13.78%	12.62%	13.24%	13.43%	13.61%	12.65%	11.62%	-1.99%

3行合算

(億円)

	2018/9 (半期)	2019/3 (通期)	2019/9 (半期)	2020/3 (通期)	2020/9 (半期)	2021/3 (通期)	2021/9 (半期)	2022/3 (通期)	2022/9 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	476	900	414	900	474	1,134	488	993	503	15
資金利益	463	891	423	891	437	1,022	436	874	451	15
役務取引等利益	48	83	34	71	39	89	46	91	45	△ 1
経費	290	566	274	541	260	512	248	480	237	△ 11
人件費	140	268	127	249	117	233	111	215	108	△ 3
物件費	126	255	126	249	121	239	116	228	108	△ 8
コア業務純益	186	333	139	358	213	621	240	512	266	26
除く投資信託解約損益	137	260	114	255	144	346	171	391	240	69
経常利益	210	381	221	438	167	442	192	△ 8	198	6
当期利益	156	290	167	333	129	324	154	△ 35	158	4
与信関係費用	18	73	60	117	70	87	40	219	2	△ 38

※記載金額の単位未満は切捨て表示

業績推移（2）各行単体

各行単体

(億円)

		2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比
		(半期)	(通期)	(半期)	(通期)	(半期)	(通期)	(半期)	(通期)	(半期)	
山口銀行	コア業務粗利益	264	495	222	503	272	663	278	558	288	10
	資金利益	265	507	241	513	249	596	242	476	263	21
	役務取引等利益	33	58	24	50	27	61	32	63	30	△ 2
	経費	143	281	139	271	130	257	126	241	119	△ 7
	人件費	69	134	65	127	59	118	56	109	53	△ 3
	物件費	63	128	64	125	61	121	60	117	56	△ 4
	コア業務純益	121	214	83	231	141	405	152	316	168	16
	除く投資信託解約損益	87	161	63	151	88	201	104	233	151	47
	経常利益	142	252	167	307	112	277	146	53	123	△ 23
	当期利益	105	187	123	230	84	198	98	27	93	△ 5
与信関係費用	17	51	29	59	25	30	11	73	△ 10	△ 21	
ちみじ銀行	コア業務粗利益	154	289	133	281	142	351	148	306	147	△ 1
	資金利益	143	272	127	267	132	313	136	282	128	△ 8
	役務取引等利益	12	21	9	17	10	23	10	21	11	1
	経費	108	208	98	194	93	182	86	169	83	△ 3
	人件費	51	97	44	87	41	80	37	73	37	△ 0
	物件費	46	92	44	89	43	85	40	79	37	△ 3
	コア業務純益	46	80	35	87	48	168	61	137	64	3
	除く投資信託解約損益	31	59	30	63	33	98	39	99	55	16
	経常利益	46	96	36	76	35	93	24	△ 80	42	18
	当期利益	35	77	30	62	29	73	40	△ 65	41	1
与信関係費用	2	13	26	53	33	42	21	98	8	△ 13	
北九州銀行	コア業務粗利益	57	115	57	115	59	120	62	128	68	6
	資金利益	55	110	55	110	55	112	57	115	59	2
	役務取引等利益	1	3	1	2	1	4	2	5	3	1
	経費	38	76	37	74	36	72	35	69	34	△ 1
	人件費	19	36	17	35	17	34	16	32	16	△ 0
	物件費	17	34	17	33	16	32	15	31	15	△ 0
	コア業務純益	18	38	20	40	22	47	26	58	33	7
	除く投資信託解約損益	18	38	20	40	22	47	26	58	33	7
	経常利益	21	32	17	54	19	72	21	18	31	10
	当期利益	15	25	13	41	15	52	15	2	22	7
与信関係費用	△ 1	8	3	5	11	14	8	48	4	△ 4	

※記載金額の単位未満は切捨て表示

貸出金推移（未残）

山口銀行

(億円)

	2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比
国内貸出金合計	38,933	40,130	40,591	42,121	43,066	43,336	43,947	44,896	45,891	1,944
法人貸出金	26,196	27,259	27,971	29,551	30,687	31,158	32,233	33,410	34,809	2,576
大企業	13,106	13,355	13,933	14,717	15,373	15,358	15,990	15,851	16,501	511
中堅企業	862	863	821	875	843	742	730	709	717	△ 13
中小企業等	12,227	13,040	13,217	13,958	14,470	15,056	15,512	16,850	17,591	2,079
地公体	6,344	6,412	6,132	6,075	5,991	5,844	5,473	5,292	4,962	△ 511
外郭団体	31	31	30	44	30	46	22	32	9	△ 13
個人ローン	6,362	6,427	6,456	6,449	6,356	6,288	6,217	6,162	5,602	△ 615
住宅ローン	5,708	5,778	5,824	5,830	5,773	5,728	5,666	5,631	5,602	△ 64
その他ローン	653	649	632	619	583	559	550	531	509	△ 41

もみじ銀行

(億円)

	2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比
国内貸出金合計	22,353	22,533	22,817	23,169	23,701	23,320	23,533	23,935	24,435	902
法人貸出金	13,916	14,244	14,359	14,851	15,367	15,416	15,595	16,049	16,568	973
大企業	3,385	3,601	3,680	4,013	4,106	4,122	4,269	4,698	4,860	591
中堅企業	694	719	675	677	675	671	641	639	614	△ 27
中小企業等	9,836	9,923	10,003	10,160	10,586	10,622	10,683	10,712	11,094	411
地公体	3,139	2,964	3,098	2,983	3,009	2,595	2,650	2,614	2,617	△ 33
外郭団体	54	53	53	52	53	51	59	57	56	△ 3
個人ローン	5,242	5,271	5,305	5,280	5,270	5,256	5,229	5,215	5,194	△ 35
住宅ローン	4,932	4,968	5,009	4,991	5,002	4,998	4,980	4,976	4,961	△ 19
その他ローン	309	302	296	289	268	258	248	239	232	△ 16

北九州銀行

(億円)

	2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比
国内貸出金合計	11,459	11,591	11,702	11,807	12,426	12,572	12,712	12,873	13,295	583
法人貸出金	7,995	8,049	8,117	8,148	8,575	8,748	8,883	9,087	9,464	581
大企業	967	994	1,022	1,098	1,207	1,178	1,231	1,203	1,226	△ 5
中堅企業	672	699	734	730	738	714	685	707	795	110
中小企業等	6,356	6,354	6,359	6,319	6,628	6,854	6,966	7,178	7,443	477
地公体	1,181	1,159	1,122	1,176	1,349	1,307	1,325	1,287	1,272	△ 53
外郭団体	8	5	5	4	4	3	3	2	3	0
個人ローン	2,268	2,375	2,455	2,479	2,497	2,502	2,494	2,495	2,556	62
住宅ローン	1,923	2,044	2,126	2,159	2,184	2,205	2,210	2,229	2,301	91
その他ローン	345	331	328	320	313	297	284	267	255	△ 29

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

預金推移 (末残)

山口銀行

(億円)

	2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比	
預金	52,723	51,276	51,663	53,237	56,193	56,256	56,624	58,026	58,235	1,611	
内 容 別	一般	46,445	46,155	46,710	45,871	49,172	49,490	49,716	50,098	50,483	767
	うち個人	33,088	33,152	33,317	33,635	34,900	35,524	36,102	36,641	36,914	812
	うち法人	13,357	13,003	13,392	12,235	14,271	13,966	13,613	13,457	13,570	△ 43
	公金	3,297	2,949	3,244	3,052	3,492	3,342	3,790	4,405	4,115	325
	金融	2,980	2,171	1,708	4,314	3,527	3,423	3,117	3,524	3,636	519
商 品 別	邦貨定期性預金	24,519	22,042	23,088	23,554	24,434	22,591	22,940	21,549	22,452	△ 488
	邦貨流動性預金	26,465	27,809	27,628	28,758	30,803	32,894	33,157	35,686	34,765	1,608
	外貨預金	1,739	1,424	946	925	954	770	526	791	10,071	9,545

もみじ銀行

(億円)

	2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比	
預金	29,868	29,823	29,832	30,107	31,776	32,097	32,601	32,502	33,329	728	
内 容 別	一般	28,798	28,972	29,001	29,299	30,799	31,357	31,615	31,739	32,124	509
	うち個人	21,687	21,794	21,920	22,035	22,645	22,881	22,990	23,222	23,400	410
	うち法人	7,111	7,177	7,081	7,263	8,153	8,476	8,624	8,517	8,729	105
	公金	579	332	423	419	597	389	630	413	857	227
	金融	487	519	406	390	379	345	353	345	345	△ 8
商 品 別	邦貨定期性預金	14,395	13,983	13,627	13,405	13,334	12,838	12,943	12,510	12,727	△ 216
	邦貨流動性預金	15,334	15,711	16,112	16,596	18,326	19,138	19,524	19,900	20,476	952
	外貨預金	135	128	91	106	115	114	131	128	125	△ 6

北九州銀行

(億円)

	2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比	
預金	11,283	11,367	11,655	11,811	12,319	11,898	12,905	12,932	12,869	△ 36	
内 容 別	一般	9,551	9,798	9,817	9,864	10,223	10,554	10,536	10,765	10,708	172
	うち個人	5,532	5,541	5,564	5,507	5,631	5,664	5,688	5,758	5,751	63
	うち法人	4,018	4,257	4,252	4,357	4,592	4,889	4,847	5,007	4,957	110
	公金	1,103	967	1,229	1,117	1,376	613	1,635	1,406	1,343	△ 292
	金融	627	601	607	830	719	727	732	762	818	86
商 品 別	邦貨定期性預金	7,029	6,799	7,071	6,962	6,893	6,131	6,783	6,390	7,009	226
	邦貨流動性預金	4,190	4,511	4,526	4,790	5,354	5,689	6,037	6,462	5,770	△ 267
	外貨預金	61	56	56	59	71	74	82	80	90	8

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

※NCD含む

資金運用勘定・資金調達勘定推移（平残）

山口銀行

(億円)

	2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比
資金運用勘定計	56,024	55,615	55,273	55,604	60,238	60,856	66,182	66,489	66,665	483
貸出金	38,534	39,018	40,176	40,683	42,843	43,129	43,867	44,268	45,956	2,089
有価証券	10,288	9,427	8,855	9,145	11,783	11,677	11,737	11,467	9,014	△ 2,723
コールローン	2,502	2,180	845	776	571	653	541	894	1,922	1,381
資金調達勘定計	53,955	53,548	53,302	53,559	57,655	58,434	63,983	64,237	64,245	262
預金	49,172	49,151	49,423	49,303	51,460	52,290	53,627	53,746	55,534	1,907
譲渡性預金	3,968	3,275	2,329	2,349	3,735	3,384	3,342	3,271	3,205	△ 137
コールマネー	311	485	917	1,028	906	840	883	828	567	△ 316

もみじ銀行

(億円)

	2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比
資金運用勘定計	30,161	30,036	29,523	29,901	31,570	31,908	37,384	37,339	36,659	△ 725
貸出金	22,132	22,248	22,625	22,784	23,516	23,597	23,367	23,555	24,187	820
有価証券	6,174	5,809	4,910	5,127	5,835	5,865	5,924	5,711	4,582	△ 1,342
コールローン	52	210	509	382	442	603	493	645	2,114	1,621
資金調達勘定計	30,209	30,221	30,262	30,397	32,284	33,032	36,991	36,876	36,064	△ 927
預金	28,797	28,820	29,149	29,163	30,500	30,979	32,208	32,240	33,001	793
譲渡性預金	1,034	971	823	748	648	539	407	406	362	△ 45
コールマネー	165	114	56	71	194	164	116	108	177	61

北九州銀行

(億円)

	2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比
資金運用勘定計	12,116	12,204	12,399	12,430	13,027	13,319	14,159	14,252	14,675	516
貸出金	11,316	11,413	11,564	11,611	12,117	12,260	12,585	12,667	13,057	472
有価証券	224	227	231	236	251	264	291	324	368	77
コールローン	3	4	3	3	4	3	23	14	0	△ 23
資金調達勘定計	11,419	11,506	11,714	11,755	12,370	12,652	13,479	13,611	13,973	494
預金	9,293	9,313	9,803	9,812	10,560	10,731	11,337	11,415	11,284	△ 53
譲渡性預金	1,341	1,400	1,326	1,326	1,366	1,215	1,019	1,030	967	△ 52
コールマネー	777	785	577	609	418	595	762	800	1,297	535

※金額は単位未満を四捨五入表示。

利回り・利鞘推移

山口銀行		2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比	
資金運用利回	①	1.056	1.042	1.014	1.060	0.931	1.067	0.802	0.783	0.870	0.068	
貸出金利回	ア	1.103	1.103	1.067	1.037	0.874	0.843	0.798	0.798	0.960	0.162	
有価証券利回		1.483	1.427	1.363	1.717	1.526	2.391	1.471	1.342	1.321	△ 0.150	
コールローン利回		0.290	0.378	0.613	0.554	0.243	0.155	0.144	0.164	0.325	0.181	
資金調達利回	②	0.117	0.135	0.150	0.141	0.109	0.091	0.072	0.068	0.085	0.013	
預金利回		0.093	0.102	0.093	0.080	0.035	0.029	0.020	0.019	0.036	0.016	
譲渡性預金利回		0.014	0.014	0.016	0.014	0.005	0.003	0.001	0.001	0.001	0.000	
コールマネー利回		2.515	1.886	1.946	1.362	0.737	0.551	0.294	0.331	1.611	1.317	
経費率	③	0.529	0.525	0.520	0.507	0.452	0.440	0.393	0.376	0.371	△ 0.022	
資金調達原価	(②+③)	④	0.646	0.660	0.670	0.649	0.561	0.531	0.466	0.444	0.457	△ 0.009
預金等原価	イ	0.625	0.633	0.626	0.603	0.505	0.490	0.460	0.443	0.440	△ 0.020	
預金等利回	ウ	0.087	0.096	0.090	0.077	0.033	0.028	0.019	0.018	0.035	0.016	
経費率		0.537	0.536	0.536	0.526	0.472	0.462	0.441	0.424	0.405	△ 0.036	
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.478	0.470	0.441	0.434	0.369	0.353	0.338	0.355	0.520	0.182	
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.016	1.007	0.977	0.960	0.841	0.815	0.779	0.780	0.925	0.146	
預証単純利鞘		1.396	1.331	1.273	1.640	1.493	2.363	1.452	1.324	1.286	△ 0.166	

ちみじ銀行		2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比	
資金運用利回	①	1.020	0.979	0.915	0.943	0.866	1.000	0.763	0.773	0.755	△ 0.008	
貸出金利回	ア	1.052	1.047	1.013	1.003	0.953	0.946	0.920	0.911	0.918	△ 0.002	
有価証券利回		1.176	1.015	0.800	1.007	0.813	1.510	1.105	1.155	1.028	△ 0.077	
コールローン利回		0.650	0.194	0.016	0.025	0.007	0.007	0.069	0.042	0.028	△ 0.041	
資金調達利回	②	0.070	0.071	0.054	0.048	0.028	0.016	0.033	0.017	0.058	0.025	
預金利回		0.036	0.035	0.025	0.022	0.014	0.012	0.009	0.009	0.008	△ 0.001	
譲渡性預金利回		0.011	0.010	0.010	0.010	0.007	0.006	0.003	0.003	0.003	0.000	
コールマネー利回		0.381	0.324	0.923	0.649	0.294	0.241	0.188	0.246	2.156	1.968	
経費率	③	0.713	0.688	0.647	0.639	0.578	0.553	0.468	0.459	0.459	△ 0.009	
資金調達原価	(②+③)	④	0.783	0.760	0.701	0.688	0.607	0.569	0.502	0.476	0.517	△ 0.015
預金等原価	イ	0.758	0.733	0.678	0.672	0.614	0.592	0.540	0.527	0.505	△ 0.035	
預金等利回	ウ	0.035	0.034	0.024	0.021	0.014	0.012	0.009	0.009	0.008	△ 0.001	
経費率		0.722	0.698	0.653	0.650	0.600	0.579	0.531	0.518	0.496	△ 0.035	
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.294	0.314	0.335	0.331	0.339	0.354	0.380	0.384	0.412	0.032	
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.017	1.013	0.989	0.982	0.939	0.934	0.911	0.902	0.910	△ 0.001	
預証単純利鞘		1.141	0.981	0.776	0.986	0.799	1.498	1.096	1.146	1.020	△ 0.076	

北九州銀行		2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	前年同期比	
資金運用利回	①	0.981	0.982	0.968	0.957	0.885	0.872	0.827	0.831	0.864	0.037	
貸出金利回	ア	0.998	0.992	0.981	0.967	0.899	0.897	0.887	0.883	0.913	0.026	
有価証券利回		2.443	2.688	2.658	2.652	2.348	2.168	1.583	1.615	1.699	0.116	
コールローン利回		2.027	2.178	2.030	1.550	0.358	0.186	0.009	0.010	1.232	1.223	
資金調達利回	②	0.077	0.077	0.078	0.070	0.038	0.031	0.022	0.022	0.052	0.030	
預金利回		0.049	0.046	0.047	0.043	0.030	0.026	0.019	0.018	0.018	△ 0.001	
譲渡性預金利回		0.024	0.024	0.025	0.022	0.015	0.014	0.008	0.008	0.009	0.001	
コールマネー利回		0.489	0.524	0.712	0.596	0.308	0.148	0.067	0.086	0.383	0.316	
経費率	③	0.681	0.667	0.639	0.637	0.588	0.575	0.522	0.508	0.492	△ 0.030	
資金調達原価	(②+③)	④	0.758	0.744	0.717	0.707	0.626	0.607	0.544	0.530	0.545	0.001
預金等原価	イ	0.777	0.760	0.717	0.713	0.638	0.635	0.588	0.574	0.579	△ 0.009	
預金等利回	ウ	0.045	0.043	0.044	0.040	0.028	0.025	0.018	0.017	0.017	△ 0.001	
経費率		0.731	0.716	0.673	0.672	0.610	0.609	0.570	0.556	0.561	△ 0.009	
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.221	0.232	0.264	0.254	0.261	0.262	0.299	0.309	0.333	0.034	
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	0.953	0.949	0.937	0.927	0.871	0.872	0.869	0.866	0.896	0.027	
預証単純利鞘		2.398	2.645	2.614	2.612	2.320	2.143	1.565	1.598	1.682	0.117	

※単位未満を切捨表示。

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく変更されることがあります。本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご注意ください。

【本資料に関するお問い合わせ先】
株式会社 山口フィナンシャルグループ
総合企画部 広報・IR室
TEL 083-223-5511
<https://www.ymfg.co.jp/>

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg